まちづくりの目標	3	環境にやさしく、自然と都市機能が調和した、住みやすいまち
施策の大綱	2	交通ネットワークの整備
基本施策	2	公共交通

目指す姿

①公共交通網が機能的に整備され、誰もが円滑に移動できている。 ②マイカーで出かける割合が減り、公共交通を利用する市民の割合が高くなっている。

# 1 目指す姿の進捗度

1 日指す姿の進捗度												
設問①公共交通網が機能的に	整備さ	れ、誰も	が円滑に	移動で	きている	) 。						
1-	·1 市民	実感度	評価				1-2 事業	者実感的	度評価			
回答	件数	比率	得点	評価	前回得	点評価	回答	件数	比率	í	导点評価	
そう思う	35	6.5%	7.1%	7.1	7.6%	7.6	そう思う	1	1.3%	1.4%	1.4	
どちらかというとそう思う	173	32.2%	35.1%	26.3	30.4%	22.8	どちらかというとそう思う	13	16.9%	17.8%	13.4	
どちらとも言えない	150	27.9%	30.4%	15.2	30.0%	15.0	どちらとも言えない	25	32.5%	34.2%	17.1	
どちらかというとそう思わない	81	15.1%	16.4%	4.1	18.2%	4.6	どちらかというとそう思わない	21	27.3%	28.8%	7.2	
そう思わない	54	10.1%	11.0%	0.0	13.8%	0.0	そう思わない	13	16.9%	17.8%	0.0	
わからない	22	4.1%					わからない	3	3.9%			
無回答	22	4.1%					無回答	1	1.3%			
総数	537	100.0%					総数	77	100.0%			
有効回答数	493	_	100.0%	52.7	100.0%	50.0	有効回答数	73		100.0%	39.0	
評価①				С		С	評価①				d	
設問②マイカーで出かける割食	<u></u> 合が減り	、公共3	を通を利力	用する市	民の割	合が高く	<b>くなっている。</b>					
回答	件数	比率	得点	評価	前回得	点評価	回答	件数	比率	í	得点評価	
そう思う	18	3.4%	3.9%	3.9	3.1%	3.1	そう思う	1	1.3%	1.4%	1.4	
どちらかというとそう思う	49	9.3%	10.7%	8.1	8.7%	6.5	どちらかというとそう思う	3	3.9%	4.3%	3.2	
どちらとも言えない	140	26.5%	30.7%	15.4	23.3%	11.7	どちらとも言えない	20	26.0%	28.6%	14.3	
どちらかというとそう思わない	124	23.5%	27.2%	6.8	26.3%	6.6	どちらかというとそう思わない	22	28.6%	31.4%	7.9	
そう思わない	125	23.7%	27.4%	0.0	38.6%	0.0	そう思わない	24	31.2%	34.3%	0.0	
わからない	59	11.2%					わからない	7	9.1%			
無回答	13	2.5%					無回答	0	0.0%			
総数	528	100.0%					総数	77	100.0%			
有効回答数	456		100.0%	34.2	100.0%	27.9	有効回答数	70		100.0%	26.8	
評価②				d		е	評価②				е	
市民実感度評価	i i			С		d	事業者実感度評	価			d	

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民·事業者満足度調査 平成24年5月実施】

### 2-1 指標評価

No.	指標名	この指標について	指標の	動向		
1	鉄道やバスな どの公共交通	平成18年度に実施した「まちづくりに関するアンケート調査」における一般市民	56	計画当初値	直近値	目指す値
	機関の満足度 (点)	の鉄道やバスなどの公共交通機関の 満足度で、「非常に満足」「満足」「やや	54	H18	H24	H25
		満足」と回答した人の割合。 平成8年度に実施したアンケート調査時	53	52.1	52.9	55.0
担当課	指標区分	よりも向上し、施設満足度全体の中で も比較的高い水準であることから、平成	51 52.1 51.6 H	124年度客観目標	達成度①	評価
企画 政策 課	重点指標 アウトカム	30年度には約1割の増加を、平成25年 度にはその中間値を目指します。	H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25	54.2	39%	С
环	目標設定 パターン	指標の把握方法(数値の出所)	平成24年度市民満足度調査		調査サイクル	2年
	pD	目標が未達成(c以下)の場合の理由	<外的要因の有無:□有 ■無> 公共交通のあり方や、整備の方針に対する内容 画」を策定し、平成23年10月から2地区での実ま おいても、公共交通に対するニーズがあるため。	証運行を開始し		
2		駅周辺に放置している自転車の撤去台数。	410	計画当初値	直近値	目指す値
	数(台)	迷惑駐輪防止のための啓発や、放置 防止の指導等を通じて、放置自転車の	400	H20	H24	H25
		撤去台数が減少(放置自転車の減少) することを目指します。	300 275	220	192	198
担当課	指標区分		200	H24年度設定目標 H24年度客観目標	達成度②	評価
生活安全課	重点指標 アウトカム		H20 H21 H22 H23 H24 H25	減少 202	159%	а
坏	目標設定 パターン	指標の把握方法(数値の出所)	生活安全課		調査サイクル	随時
	pD	目標が未達成(c以下)の場合の理由	<外的要因の有無:□有 □無>			

[評価基準] 達成度①:「増加目標」・達成度②:「減少目標」達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下 [目標設定パターン] pA:生駒のありたい姿を示す理想的な水準として設定、pB:国県の目標等に合わせて設定、pC:全国平均水準にあわせて設定、pD:過去のトレンド等を踏まえた実現可能な努力目標として設定

#### 2-2 代替指標

# ■補助指標

No.	指標名	この指標について	主体	進捗	H22	H23	H24	H25	代替指標評価
2		駅周辺に放置している自転車の1回あ たりの撤去台数。	行政	目標			3.0	3.0	
	去台数(台)		1 ] 以	実績	6.0	3.3	2.6		a a

[評価基準] 達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下

#### ■プロセス指標

No.	指標名	取組名	H22	H23	H24	H25	代替指標評価
1	共交通活性化	生駒市地域公共交通総合連携計画の 策定(H23.3)	-				
		生駒市地域公共交通活性化協議会の 開催					b
		本町地区・南地区でのコミュニティバス			_		
		実証運行					

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

# 2-3 客観指標評価

### 3-1 市民の役割分担状況

#### 3-3 事業者の役割分担状況

設問 鉄道駅までの移動手段を徒歩・自転車・バスなどにしている。						   設問   搬送車等を路上や歩道へ駐車していない。 				
回答	件数	比率	1	导点評価		回答	件数	比	率	得点評価
十分取り組んでいる	204	40.8%	42.8%	42.8	十分取り組んでいる		28	36.4%	37.3%	37.3
取り組んでいる	122	24.4%	25.6%	19.2	取り組んでいる		36	46.8%	48.0%	36.0
少し取り組んでいる	64	12.8%	13.4%	6.7	少し取り組んでいる		7	9.1%	9.3%	4.7
あまり取り組んでいない	42	8.4%	8.8%	2.2	あまり取り組んでいない		3	3.9%	4.0%	1.0
全く取り組んでいない	45	9.0%	9.4%	0.0	全く取り	組んでいない	1	1.3%	1.3%	0.0
無回答	23	4.6%			無回答		2	2.6%		
総数	500	100.0%			総数		77	100.0%		
有効回答数	477		100.0%	70.9	有効回		75		100.0%	79.0
評価			b		評価				а	

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民·事業者満足度調查 平成24年5月実施】

#### 3-2 地域活動等の役割分担

役割項目	評価	役割分担状況
・ボランティアによる路上等への駐車・駐輪の防止、取締りを行う。 ・公共交通の改善に向けて要望を行う。	b	(生活安全課:b) 路上等への駐輪は目標より減少している。 (企画政策課:b) 平成22年11月末までに、20地区から公共交通サービス提供の要望があった。

[評価基準] a:十分取り組んでいる b:取り組んでいる c:少し取り組んでいる d:あまり取り組んでいない e:全く取り組んでいない

### 3-4 行政の役割分担

(1)市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組

### A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の 目標水準	行政以外の 主体の役割	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
		の防止	ている自転車等 の迷惑駐輪防止	(平成25年3月 末)	自転車等の利 用者が自転車 駐車場を正しく 利用する	b	撤去台数:192台		指標	生活安全課
	市民·地域活動	助等・事業者が	役割を果たせる	よう支援する取る	b					

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

#### B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	行政以外の 主体の役割	進捗上の課題	担当課
	公共交通機関の利用促進に向けて周知・ 啓発を行います。				引き続き広報いこまに掲載するとともに、他の啓発 方法を検討する必要がある	生活安 全課
	・ボランティアによる迷惑駐車・駐輪等の 取締りを支援・推進します。 ・迷惑駐車・駐輪の防止のための啓発を 行います。	会の設置及び運営	び行政職員による協議会を設置し、自転 車等の放置を防止するために、研究協議	利用(事業者) 駐車場の設置、	地域住民、事業者、交通 事業者が主体的に協議会 を運営して行く手法を検 討する必要がある。	生活安 全課

#### (2)行政が主体的に実施する取組状況

### A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の 目標水準	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
26	業者、行政など で構成する組織 において、今後	の策定 (鉄道やバスな どの公共交通機 関の満足度)	H23年10月に実証運行を開始した、門前線、西畑線・萩原線について、利用実態等を把握し、運行の改善を図るとともに、他地区での路線の検討を進める。	実証運行結果 の検証、他地区 での路線の検 討開始。 (平成25年3月)		利用実態及び地元要望を踏まえ、10月1日から門前線の増便と停留所1ヶ所の設置を実の増置を実の方が上のがらび運行の変更を行ルートを行り、1日からで変更を利用の促進を図った。また、次期導入地区の選定にあたっての基本的な方針を定めた。			企画政 策課
		行政が主体的	りに実施する取組状況	а					

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

### 4 総合評価

4 総合評価					
			H22	H23	H24
1 目指す姿の	准排度	市民実感度	d	С	С
1 日刊9安の	<b>严沙</b> 及	事業者実感度	1	d	d
↑ 1(市民)と2(客観)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析 ↓					放置自転車の1回あたりの撤去台数が 目標を上回る形で減少推移したため、 市民実感度と客観指標評価の間に乖 離が生じた。
2 客観指標評	価		е	d	а
	↑ 2(客観)と3(行政)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析 ↓		め、指標評価と役割分担の間に乖離が	(生活安全課) 放置自転車の撤去回数を増やしたため、指標評価と役割分担の間に乖離が生じた。	
	₫	ī 民	b	b	b
	地	!域活動等	С	С	b
3 役割分担 状況	Ę	事業 者	а	а	а
	行 政	支援する取組	а	а	b
	II IIX	主体的な取組	b	b	a
総合評価(主	E担当課	の内部評価)	С	С	В
現状の調 (内部評価か		後の取組 の場合記入)			

[評価基準] A:目標が十分に達成されている B:目標がかなり達成されている C:目標がそこそこ達成されている D:目標があまり達成されていない E:目標が達成されていない

0 №日日日田城五07心九		
進捗状況の内部評価 についての意見		
今後の取組についての意見	前年度 最終評価	С
内部評価を変更した場合の理由	最終評価	

まちづくりの目標	3	環境にやさしく、自然と都市機能が調和した、住みやすいまち
施策の大綱	3	環境配慮社会の構築
基本施策	1	3R

①3Rの意識が、市民や事業者に浸透し、持続可能なまちづくりがなされている。 ②市民・事業者との協働により、資源とごみの分別が適切になされるなど、ごみ処理のルールが守られ、ごみの発生の少ないまちになっている。

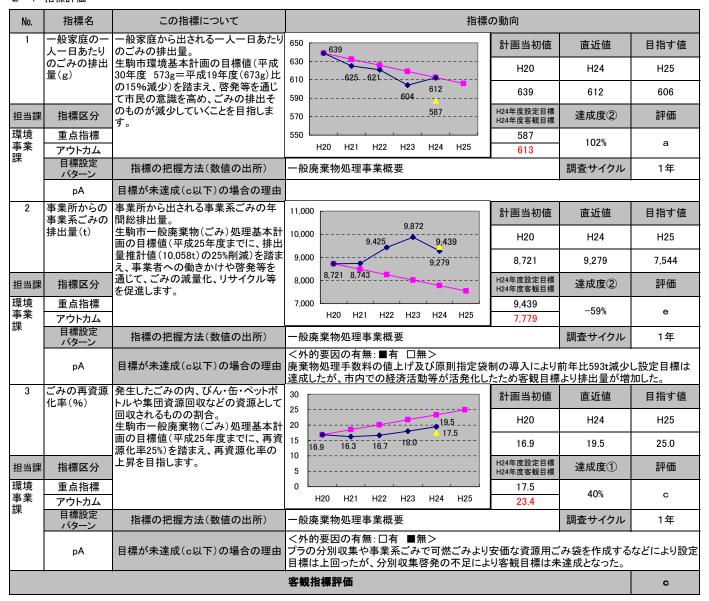
#### 1 目指す姿の進捗度

1 日拍9安切進抄及											
設問① 3Rの意識が、市民や事	業者に	浸透し、	持続可能	能なまち	っづくりか	「なされ <sup>っ</sup>	ている。				
1-	1 市民	実感度	評価				1-2 事業者実感度評価				
回答	件数	比率	得点	評価	前回得	点評価	回答	件数	比率	1	导点評価
そう思う	28	5.6%	6.8%	6.8	3.8%	3.8	そう思う	6	8.7%	9.4%	9.4
どちらかというとそう思う	114	22.8%	27.8%	20.9	30.8%	23.1	どちらかというとそう思う	22	31.9%	34.4%	25.8
どちらとも言えない	173	34.6%	42.2%	21.1	38.8%	19.4	どちらとも言えない	24	34.8%	37.5%	18.8
どちらかというとそう思わない	61	12.2%	14.9%	3.7	16.2%	4.1	どちらかというとそう思わない	9	13.0%	14.1%	3.5
そう思わない	34	6.8%	8.3%	0.0	10.4%	0.0	そう思わない	3	4.3%	4.7%	0.0
わからない	66	13.2%					わからない	3	4.3%		
無回答	24	4.8%					無回答	2	2.9%		
総数	500	100.0%					総数	69	100.0%		
有効回答数	410		100.0%	52.5	100.0%	50.4	有効回答数	64		100.0%	57.4
評価①				С		С	評価①				С
設問② 市民・事業者との協働に	こより、う	資源とご	みの分が	別が適切	刃になさ	れるなと	 ご、ごみ処理のルールが守られ、ごみの	発生の	少ないま	ちになっ	ている。
回答	件数	比率	得点	評価	前回得	点評価	回答	件数	比率	ŕ	导点評価
そう思う	43	8.0%	8.7%	8.7	6.9%	6.9	そう思う	4	5.8%	5.9%	5.9
どちらかというとそう思う	222	41.3%	44.8%	33.6	37.3%	28.0	どちらかというとそう思う	29	42.0%	42.6%	32.0
どちらとも言えない	146	27.2%	29.4%	14.7	30.1%	15.1	どちらとも言えない	21	30.4%	30.9%	15.4
どちらかというとそう思わない	59	11.0%	11.9%	3.0	14.5%	3.6	どちらかというとそう思わない	10	14.5%	14.7%	3.7
そう思わない	26	4.8%	5.2%	0.0	11.3%	0.0	そう思わない	4	5.8%	5.9%	0.0
わからない	23	4.3%	_				わからない	1	1.4%		
無回答	18	3.4%					無回答	0	0.0%		
総数	537	100.0%					総数	69	100.0%		
有効回答数	496		100.0%	59.9	100.1%	53.6	有効回答数	68		100.0%	57.0
評価② c c				С	評価②			С			
市民実感度評価				С		С	事業者実感度評	価			С

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民·事業者満足度調査 平成24年5月実施】

#### 2-1 指標評価



[評価基準] 達成度①:「増加目標」・達成度②:「減少目標」 達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下 [目標設定パターン] pA:生駒のありたい姿を示す理想的な水準として設定、pB:国県の目標等に合わせて設定、pC:全国平均水準にあわせて設定、pD:過去のトレンド等を踏まえた実現可能な努力目標として設定

#### 3-1 市民の役割分担状況

#### 3-3 事業者の役割分担状況

設問	場所・時間など決められたごみ でいる。	出しのバ	レールを	守り、分	別に取り組ん	設問	環境に配慮した商品を取り扱っ	っている。	o .		
	回答	件数	比率	í	导点評価		回答	件数	比	率	得点評価
十分取	り組んでいる	297	55.3%	58.6%	58.6	十分取	り組んでいる	7	10.1%	10.6%	10.6
取り組ん	んでいる	148	27.6%	29.2%	21.9	取り組	んでいる	14	20.3%	21.2%	15.9
少し取り	り組んでいる	46	8.6%	9.1%	4.5	少し取	り組んでいる	23	33.3%	34.8%	17.4
あまり耳	対組んでいない	9	1.7%	1.8%	0.4	あまり	<b>取り組んでいない</b>	8	11.6%	12.1%	3.0
全く取り	J組んでいない	7	1.3%	1.4%	0.0	全く取り	J組んでいない	14	20.3%	21.2%	0.0
無回答		30	5.6%			無回答		3	4.3%		
総数		537	100.0%		_	総数		69	100.0%		_
有効回	答数	507		100.0%	85.5	有効回	答数	66		100.0%	47.0
	評価			а		評価				С	

#### 3-2 地域活動等の役割分担

役割項目	評価	役割分担状況
・市民団体等が自らごみの分別を徹底する。 ・ごみ減量及び陶磁器や資源ごみの回収などのリユース・リサイクル についての自主的な活動を行う。		集団資源回収の数が平成17年度120団体が平成24年度には146団体になった。 平成24年度の陶磁器製及びガラス製食器のリユース、リサイクル量は48,663kgとなった。また、平成24年度から小家具やおもちゃ等のリユース事業に新たに取り組み、3,300Kgをリユースした。

[評価基準] a:十分取り組んでいる b:取り組んでいる c:少し取り組んでいる d:あまり取り組んでいない e:全く取り組んでいない

### 3-4 行政の役割分担

(1)市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組

#### A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の 目標水準	行政以外の 主体の役割	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
11		どを市民に周知	リサイクルの推 進等を、自治会 等での説明・広 報紙などを通じ て市民に周知 し、「循環型社	の分別収集等 について、自治 会などへの説明 会の実施及び 広報紙等での 啓発を行う。	するなどして、ご みの削減につな がる排出方法を 学び、分別に取 組む。	С	一人一日あたりのごみ 排出量612g(平成25年3 月)		指標	環境事業課
14	抑制に関する市	リユース・リサイ	磁器食器及びガ	所で各1回/月 実施 (平成25年3月)	(NPO)市と協働し、リユース・リサイクル事業を行う。	b	予定通り実施できたとと もに、利用者数やリユー スも増加している。		その他	環境事業課
15	的に行うごみ減 量・発生抑制の	される事業系ご	事業系一般廃棄物の減量化のため、ごみ処理手数料の重量制の値上げに加え、 値上げに加え、 資入を促進する。	から原則、有料 指定ごみ袋制 の導入 事業系ごみ排	(事業所)指定 袋等、定められ た分別排出を行 う。	а	昨年10月に事業系ごみ の指定袋の導入及び値 上げを実施した。 事業系ごみ排出量 9,279t(平成25年3月)		実施計画	環境事業課
	市民·地域活動	助等・事業者が	役割を果たせる	よう支援する取	組状況	b				

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

### B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	行政以外の 主体の役割	進捗上の課題	担当課
11	資源ごみのリサイクル方法やごみ減量効果を広報紙等により周知します。	広報周知	広報やホームページのほか、環境事業課が作成する「いこまごみ半減隊」を通じて 資源ごみのリサイクル等について周知する。		関心の低い市民への啓発	環境事 業課
12	ごみ減量・発生抑制に関する啓発活動や 情報提供を行います。	啓発	ン」を広く周知するために、ごみ収集車に	ジ袋削減に努める。		環境事 業課
	環境フェスティバルなどのイベントを通じて、ごみの適正な処理についての啓発・ 指導を行います。	環境フリーマーケット	年4回実施する環境フリーマーケットにおいて、ごみ減量及び分別の啓発コーナーを設け意識啓発を行う。	フリーマーケット を利用し、ごみ 減量及び分別 の啓発を行う。		環境事 業課
	ごみ減量・発生抑制に関する市民活動を 行いやすい環境の整備、活動支援を行い ます。			不用となった食器を食器市に持ち込む。また、 分別して排出する。		環境事 業課
	事業者が積極的に行うごみ減量・発生抑制の取組(事業等)を支援します。	事業系指定ごみ袋	可燃用ごみ袋より資源用ごみ袋の価格を 安くすることにより、分別の取り組みを促 進する。	指定袋で分別・ 排出する。		環境事 業課
16	ごみの不法投棄を防止するため、市民へ の啓発活動を実施します。	広報啓発	広報やホームページにより啓発を行う。また、市内をパトロールし不法投棄防止を 図る。	不法投棄を発 見した場合、市 に通報する。		環境事 業課

### (2)行政が主体的に実施する取組状況

# A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の   目標水準	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
	正な分別、回収するシステムの整備を推進し、リサイクル拠点の数件及び	別及び回収する システムを整備 し、再資源化率 を向上	集団資源回収を推進し、燃やすごみを削減する。	回収量 再資源化率 17.5% (前年比10%増)	а	再資源化率19.5% (平成25年3月)		指標	環境事業課
	Fの利活用を図	リサイクル拠点 の整備	清掃リレーセンターにリサイクルセンター機能を付加するため、検討委員会を設置する。	検討委員会の 設置・検討 (平成24年6月)	С	時期は遅れたが、懇話会を開催した。		実施計画	環境事 業課
		廃食用油の燃料	ル燃料(BDF)精製装置を効率的	BDF使用公用車 6台	С	BDF精製量 7,560L 使用公用車 3台 廃食用油回収量 6,067L	*BDF精製量は、使用車 両の廃止等による生産調 整、精製装置(真空ボン ア)の故障等により目標 値を下回った。 *回収量は、前年実績 (5,850L)を上回っている が、更なる周知を図る。		環境政策課
	ごみの不法投棄を防止するため、不法投策を 水子は乗り パトロール 非業者への指導を実施します。	及び集積業者	廃家電等を有価物として回収している事業者に対し、対象物が廃棄物に該当しないかの現状把握を行うとともに、市民からの通報等にも適時対応し、廃棄物と認められる場合は指導等を行う。	指導 3回/年	а	現状把握及び指導 15回/年		その他	環境事業課
	ター及び清掃センターの処理能 カの維持・向上	ターの適正な長 期包括運営委	長期包括運営業務委託による清掃センター維持管理業務が適正に実施されるための監視を行う。	理	b	正常運転を維持することができた。		その他	環境事業課
	環境負荷の低い、柔軟で効率 い、柔軟で効率 的なごみ収集処 理システムの構 築を図ります。	容器包装分別 収集事業を全 市を対象に実施	プラスチック製容器包装の更なる 分別に向けて、広報や自治会を 通じて市民の方々に周知する。	収集量 600t (平成25年3月)	а	広報等を通じ市民に啓発した結果、目標を上回る637tを収集するとともに、残渣率も前年を下回ることができた。		その他	環境事業課
			ごみ処分費の削減のため、安価な大阪湾フェニックスへの適正処理困難物を搬入する。		а	大阪湾フェニックス処理 単価が平成24年度から3 割程度値上がりしたが、 前年比87%となり、目標 を大きく下回ることがで きた。		その他	環境事業課
	出抑制を図るため、ごみ処理コストに係る負担 のあり方に関す	設置	ごみ有料化等検討委員会の提言 により、ごみ半減推進会議(仮称) を設置し、ごみ半減トライアル計 画(仮称)を試行的に実施する。	るごみ半減化の 取組 (平成24年10月 試行)	b	10月から市内3地区でモデル実施することができた。			環境事 業課
			契約候補者選定委員会による候補者の選定を行い、ごみ収集運搬業務委託契約を締結する。	契約の締結	b	候補者の選定を行い、 契約を締結した。		実施計画	環境事 業課
		行政が主体的	     	l 	b				

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

# B 経常的実施計画事業

取組No	取組項目	事業名	事業内容	進捗上の課題	担当課
21	資源ごみの適正な分別、回収するシステムの整備を推進し、リサイクル拠点の整備及びBDFの利活用を図ります。	清掃リレーセンターの整備	ごみ収集ルートの見直しによる清掃センターへの 直送に伴い、清掃リレーセンターをリュース・リサイクル拠点として整備を行う。		環境事 業課
22	ごみの不法投棄を防止するため、不法投棄防止パトロールや事業者への指導を実施します。		不法投棄防止パトロールのほか、違法行為を行った使用済家電製品等回収業者に対して指導を行う。		環境事 業課

	①一日環境教室 ②ごみ収集体 験学習	①小学生とその保護者を対象として開催。ごみ処理の現状と分別排出の大切さを学んでもらうため、ごみ処理施設等を見学してもらう。②小学校4年生を対象に家庭ごみの正しい出し方の説明やごみ収集車による体験学習を行い、ごみの減量化やリサイクルに対する意識を向上させるとともに環境教育の充実を図る。	減少し、ニーズが低くなっていると思われるため、	環境事 業課
清掃リレーセンター及び清掃センターの処理能力の維持・向上を図りながら、施設の適正な管理・運営に努めます。		式で、施設の安定した操業を実現しつつ、民間事業者の事業範囲を広げ、創意工夫を発揮させ単年度分離発注に比べコスト縮減を図ることを目的	受託者による現場の改善 改良が進む一方で、基準 値を超える排出状況が発 生しているため、監視を 強化し、受託者の能力の 向上を図る必要がある。	
環境負荷の低い、柔軟で効率的なごみ収 集処理システムの構築を図ります。	燃えないごみ戸別電話リクエスト ③プラスチック製容器包装の分別 収集及び可燃ごみ収集体制の見	①高齢者や障害者の負担の軽減を図るため、ご みの玄関先での収集を実施するとともに安否確認 を行い在宅生活の支援を行う。 ②平成22年10 月より、これまでのステーション方式から電話リク	対象品目に加わった、かばん、くつ、ミックスペーパーの回収がまだ十分にされていない。	環境事 業課
市民・事業者・行政の協働による取組を図るため、市全体のごみ排出状況をはじめ、市民活動等の情報共有システムなどの基盤整備を図ります。	広報等	広報やホームページでごみ排出状況や市民活動 等を周知する。		環境事 業課
家庭ごみの排出抑制を図るため、ごみ処理コストに係る負担のあり方に関する検 計を進めます。	ごみ半減トライアル計画	モデル地区において、ごみ半減のための事業を行い、その有効性を検証する。		環境事 業課

#### 4 総合評価

4 心口計画				
		H22	H23	H24
1 目指す姿の	市民実感度	С	С	C
1 日1119 安(7	事業者実感度	-	С	С
	↑ と2(客観)の評価に 離がある場合の原因分析 ↓			
2 客観指標評	価	d	С	c
	↑ と3(行政)の評価に 離がある場合の原因分析 ↓	事業系ごみの排出量については(指標)平成20年度より大規模店舗等で減量化計画書の提出を求めているが、啓発及び指導不足が原因		
	市民	b	а	а
	地域活動等	b	b	b
3 役割分担 状況	事 業 者	С	С	С
	支援する取組行政	b	b	b
	主体的な取組	а	b	b
総合評価(主	E担当課の内部評価)	В	С	С
	関と今後の取組 「D以下の場合記入)			

[評価基準] A:目標が十分に達成されている B:目標がかなり達成されている C:目標がそこそこ達成されている D:目標があまり達成されていない E:目標が達成されていない

- 40 - 41 - 12 - 12 - 13 - 13 - 13 - 13 - 13 - 1		
進捗状況の内部評価 についての意見		
今後の取組についての意見	前年度 最終評価	С
内部評価を変更した場合の理由	最終評価	

まちづくりの目標	3	環境にやさしく、自然と都市機能が調和した、住みやすいまち
施策の大綱	4	生活環境の整備
基本施策	3	地域美化·環境衛生

目指す姿

環境美化に努め、きれいなまちで快適に暮らしている。

### 1 目指す姿の進捗度

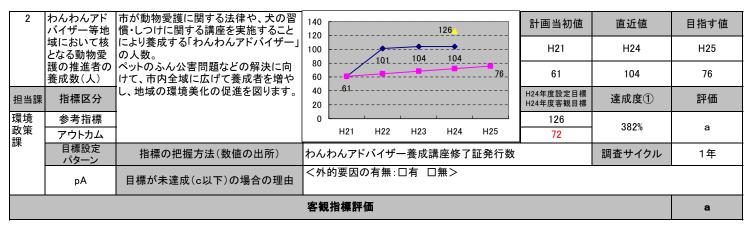
設問① 環境美化に努め、きれ	いなまち	で快適に	暮らして	いる。								
1-	-1 市員	民実感度	評価				1-2 事業者実感度評価					
回答	件数	比率	得点	評価	前回得	点評価	回答	件数	比率	得	得点評価	
そう思う	44	8.8%	9.8%	9.8	6.9%	6.9	そう思う	8	11.6%	12.3%	12.3	
どちらかというとそう思う	202	40.4%	44.8%	33.6	54.0%	40.5	どちらかというとそう思う	25	36.2%	38.5%	28.8	
どちらとも言えない	142	28.4%	31.5%	15.7	27.9%	14.0	どちらとも言えない	26	37.7%	40.0%	20.0	
どちらかというとそう思わない	40	8.0%	8.9%	2.2	7.1%	1.8	どちらかというとそう思わない		7.2%	7.7%	1.9	
そう思わない	23	4.6%	5.1%	0.0	4.1%	0.0	そう思わない	1	1.4%	1.5%	0.0	
わからない	29	5.8%					わからない	3	4.3%			
無回答	20	4.0%					無回答	1	1.4%			
総数	500	100.0%					総数	69	100.0%			
有効回答数	451		100.0%	61.3	100.0%	63.1	有効回答数	65		100.0%	63.1	
評価①			b b		b	評価①				b		
市民実感度評価 b				b	事業者実感度評価				b			

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民·事業者滿足度調查 平成24年5月実施】

### 2-1 指標評価

No.	指標名	この指標について	指標の動向				
1	不法投棄の回 収件数(件)	不法投棄防止パトロールにて回収した 廃棄物の件数。	450 計画当初值	直近値	目指す値		
		市民や事業者に対する啓発とともに、不 去投棄防止パトロールの推進により、平 成25年度には集積所への不法投棄をな に、平成30年度には道路上への不法	400 350 H20	H24	H25		
			成25年度には集積所への不法投棄をな	370 350	299	363	
担当課	指標区分	投棄の回収件数の半減を目指します。	250	達成度②	評価		
環境	参考指数		200 350	347%			
環境 事業 課	アウトカム		H20 H21 H22 H23 H24 H25 370.2	347%	а		
砵	目標設定 パターン	指標の把握方法(数値の出所)	不法投棄防止パトロール実績報告	調査サイクル	毎年		
	pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	<外的要因の有無:□有 □無>				



[評価基準] 達成度①:「増加目標」・達成度②:「減少目標」 達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下 [目標設定パターン] pA:生駒のありたい姿を示す理想的な水準として設定、pB:国県の目標等に合わせて設定、pC:全国平均水準にあわせて設定、pD:過去のトレンド等を踏まえた実現可能な努力目標として設定

#### 3-1 市民の役割分担状況

#### 3-3 事業者の役割分担状況

設問 ごみのポイ捨てや不法投棄をしていない。						設問 事業所周辺の清掃活動を積極的に実施している。				
回答	件数	比率	得点評価			回答	件数	比	率	得点評価
十分取り組んでいる	393	74.4%	76.9%	76.9	十分取	り組んでいる	7	10.1%	10.4%	10.4
取り組んでいる	93	17.6%	18.2%	13.6	取り組ん	んでいる	19	27.5%	28.4%	21.3
少し取り組んでいる	17	3.2%	3.3%	1.7	少し取り	月組んでいる	21	30.4%	31.3%	15.7
あまり取り組んでいない	6	1.1%	1.2%	0.3	あまり耳	対組んでいない	14	20.3%	20.9%	5.2
全く取り組んでいない	2	0.4%	0.4%	0.0	全く取り	J組んでいない	6	8.7%	9.0%	0.0
無回答	17	3.2%			無回答		2	2.9%		
総数	528	100.0%			総数		69	100.0%		
有効回答数	511		100.0%	92.5	有効回	答数	67		100.0%	52.6
評価				а		評価				С

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民·事業者満足度調査 平成24年5月実施】

#### 3-2 地域活動等の役割分担

役割項目	評価	役割分担状況
・地域の清掃活動を実施する。 ・違反広告物を出さないモデル地区の指定を受け、地域の環境を守る。	a	(環境政策課:a) ・自治会清掃として地域が一体となった環境美化活動を行っている。 ・生駒市まちをきれいにする条例を23年1月に施行し、全自治会への推薦依頼により選任された環境美化推進員(H24年度:260名)により、市民による市民への啓発活動等を推進している。 ・環境美化推進員は、市内鉄道9駅にて年2回実施している清掃・啓発活動「いこまり」ファップ作戦」にも積極的に参加している。 ・違反広告物については、モデル地区(~H22年度)から環境美化推進員による連絡体制に移行し、よりきめ細かい対応を図っている。

[評価基準] a:十分取り組んでいる b:取り組んでいる c:少し取り組んでいる d:あまり取り組んでいない e:全く取り組んでいない

# 3-4 行政の役割分担

# (1)市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組

### A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の 目標水準	行政以外の 主体の役割	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
	わんわんアドバイザーなどの動物愛護推進者を育成します。	適正管理推進	成します。	わんわんアドバ イザー等地域に おいて核となる動 物愛護の推進者 の養成数 10人	持って飼養す		意見交換会を1回実施 し、新規のアドバイザー養	現アドハイザーの意見やまちをきれいにする条例の改正を踏まえ、効果的な活動と養成のあり方を検討する		環境政策課
	市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組状況									

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

### B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	行政以外の 主体の役割	進捗上の課題	担当課
11	不法投棄禁止の啓発を行います。	広報啓発	広報やホームページによる啓発及び不法 投棄パトロールを実施する。	(地域活動等) 不は投発に、 い場けに、 はなりではない はない はない はない はない はない はない はない はない はない		環境事 業課
12	地域の清掃活動等の環境美化活動を支援 します。		6月の環境月間等に自らの計画に基づき、道路、水路、公園等の清掃活動を実施される自治会に対し、ごみ袋の提供やごみの回収を市が行うなどの支援を実施するとともに、環境美化活動を行う団体に車両の貸出を行っている。 ※24年度自治会清掃回収=延186自治会	参加する。	自治会清掃で出されるご みの中には業者が回収不 能のものもあり、周知の徹 底が必要。	
13	違反広告物を出さないモデル地区の拡大 を図ります。	いための取組	22年度まで6つの地区で展開した違反公告物を出さないモデル地区の取組について、さらにきめ細かい対応を図るため、全自治会から推薦を受けた環境美化推進員(24年度:260名)からの連絡を受ける体制に組み替え、地域に即した都市美観の保持及び向上に努めている。	なくす活動を推		環境政 策課
14	奈良県動物愛護管理推進計画のPRを行います。	推進事業	平成20年2月に策定された「奈良県動物 愛護管理推進計画」の動物と楽しく暮らせ るみんなの街づくりの実現に向けて、県と 連携して動物愛護管理の担い手の活動支 援や広報誌等による所有者の社会的責 任の自覚の啓発や地域住民の動物への 理解の促進に努めている。	所有者はペット の飼養を最後ま	飼い主である自覚を促すこ とが必要	環境政 策課
15	ペットの飼い方のルールやマナーなどについての啓発・情報提供を行います。	進事業	愛がん動物の適正飼育の推進に向けて、「飼い犬の登録」、「狂犬病予防集合注射」、「飼い犬のしつけ方教室」を実施している。 ※24年度=飼い犬の登録6430頭、狂犬病予防集合注射(済票交付4528件)、飼い犬のしつけ方教室51名	しての責任を自 覚し、ルールや マナーを守ると ともに、地域の		環境政 策課
16	動物の適正な管理やペットのふん公害防止対策事業により、ペット公害の防止を図ります。	進事業	・「まちをきれいにする条例」によりふんの放置禁止を明文化するとともに、H25年10月1日から命令に従わない者への罰則(過料2万円)等を導入する。・飼い犬のしつけ方教室を中心に集合注射時及び犬の登録時の啓発のほか、広報紙による周知などを行っている。・飼い主不明猫により生活環境が損なわれている場合に、繁殖を制限するため避妊・去勢手術の助成を行い、地域の生活環境の改善と動物愛護の意識高揚を図っている。 ※24年度=避妊48匹去勢25匹	しての責任を自 覚し、ルールや マナーを守ると ともに、地域の	をきれいにする条例の罰	策課
17	わんわんアドバイザーなどの動物愛護推 進者を育成します。	愛がん動物の適正管理推 進事業	地域において自らが犬等を散歩させなが ら、散歩中の飼い主に啓発チラシやふん	(市民)飼い主と しての責任を自 覚し、ルールや マナーを守ると ともに、地域の 環境美化を図 る。		環境政 策課

### (2)行政が主体的に実施する取組状況

# A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の 目標水準	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
		防止パトロール 及び不法投棄	不法投棄されたごみを回収するとともに、市民や事業者に対する啓発や不法投棄防止パトロールを実施することにより、不法投棄減少を目指す。	視及び不法投 棄ごみの回収	Ь	毎月4回実施するとともに、回収件数は299件で目標を下回ることができた。		その他	環境事業課
	ご禁止ないというできません。 およいいとないでは、できまれいがある。 では、できないできません。 では、できないできまでは、できないできまでは、いかできまでは、いかできまでは、はいかできますが、できません。	する推進事業	・市民の快適で安全な生活環境を確保するため制定された「まちをきれいにする条例」の普及啓発を行う。・環境美化推進員等による美化活動、空き地等の適正管理に関する指導等を実施する。	員の設置 250人		・平成24年度環境美化 推進員 260名 (H23から継続:127名・H 24:133名) ・市との協働で駅前ク リーンアップ作戦(清掃・ 啓発)の実施 ・H25年3月議会に罰則 等を創設する条例改正 を提案・可決		その他	環境課
		行政が主体	的に実施する取組状況		а				

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

### B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	進捗上の課題	担当課
	不法投棄防止パトロールによる監視体制 の強化や、不法投棄された廃棄物の撤去 を実施します。	不法投棄防止パトロール	不法投棄のパトロール及び撤去業務を月4回実施する。		環境事 業課
	墓地実態調査による現状の把握や墓地・ 斎場について市民ニーズを正確に把握し、 民営墓地等に対して適正な指導を行いま す。		墓地、埋葬等に関する法律及び生駒市墓地等の経営の許可に関する規則等に基づく墓地等の経営に関する許可事務		環境政 策課
	ごみのポイ捨て禁止などまちをきれいにするために必要な事項を定めた条例を制定し、環境美化に関する市民等のモラルの向上と美化思想の普及を図ります。		施行され、市民、事業者及び市が協働してまちを きれいにするための効果的な施策を実施してお り、環境美化の推進を図るため、環境美化推進員 (24年度:260名)を委嘱し、啓発などの活動を行っ ている。	イ捨て、ふん放置禁止の 啓発、清掃などを息の長い 取り組みとして継続するこ とが求められる。 ・罰則等の対応強化につ いて、マナー向上につなが	策課

# 4 総合評価

			H22	H23	H24
1 日北士次の	**	市民実感度	b	b	b
日相9安の	す姿の進捗度 事業者実感度		-	b	b
↑ 1(市民)と2(客観)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析 ↓					
2 客観指標評	価		а	а	a
		の評価に 場合の原因分析		事業者の環境美化、環境保全に関する意識醸成が求められる状況にある。	わんわんアドパイザ-の養成数について、総合計画の当初目標値は満足しているものの単年度の養成数が目標を下回っているため乖離が生じている。改正条例の施行を控え、更なる啓発に努める。
	Ħ	ī 民	а	а	а
	地	」域活動等	а	а	а
3 役割分担 状況	=	事業 者	b	С	С
	/∓ πh	支援する取組	а	С	d
	行 政 主体的な取組		а	b	а
総合評価(主	E担当認	の内部評価)	В	В	В
現状の調 (内部評価か	果題と今 ドD以下の	後の取組 の場合記入)			

[評価基準] A:目標が十分に達成されている B:目標がかなり達成されている C:目標がそこそこ達成されている D:目標があまり達成されていない E:目標が達成されていない

内部評価を変更した場合の理由	最終評価	
今後の取組についての意見	前年度 最終評価	В
進捗状況の内部評価 についての意見		

まちづくりの目標	3	環境にやさしく、自然と都市機能が調和した、住みやすいまち
施策の大綱	4	生活環境の整備
基本施策	4	上水道

目指す姿

①市民にとって経済的負担が少ないとともに、安全で安心できる水を安定して供給している。 ②健全かつ効率的で環境に配慮した水道事業がなされている。

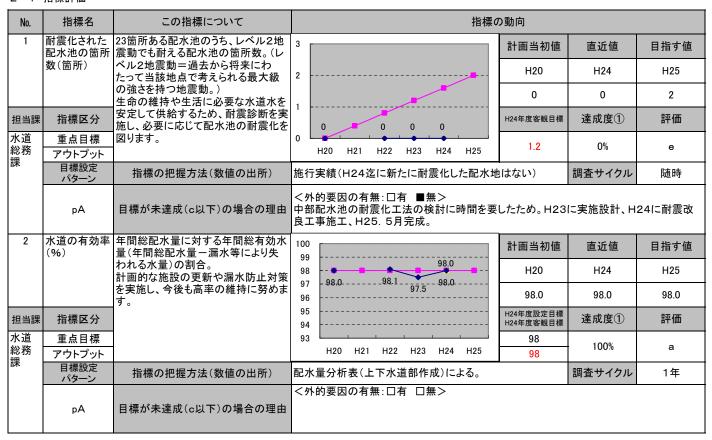
### 1 目指す姿の進捗度

設問① 市民にとって経済的負	担が少な	ないとと	もに、安:	全で安心	ンできる	水を安定	 定して供給している。					
1-	1 市民	実感度	評価				1-2 事業者実感度評価					
回答	件数	比率	得点	評価	前回得	点評価	回答	件数	比率	í	导点評価	
そう思う	50	9.5%	10.2%	10.2	9.3%	9.3	そう思う	5	6.5%	7.1%	7.1	
どちらかというとそう思う	173	32.8%	35.2%	26.4	31.8%	23.9	どちらかというとそう思う	22	28.6%	31.4%	23.6	
どちらとも言えない	131	24.8%	26.7%	13.3	24.9%	12.5	どちらとも言えない	27	35.1%	38.6%	19.3	
どちらかというとそう思わない	75	14.2%	15.3%	3.8	16.2%	4.1	どちらかというとそう思わない	11	14.3%	15.7%	3.9	
そう思わない	62	11.7%	12.6%	0.0	17.8%	0.0	そう思わない	5	6.5%	7.1%	0.0	
わからない	21	4.0%					わからない	7	9.1%			
無回答	16	3.0%					無回答	0	0.0%			
総数	528	100.0%					総数	77	100.0%			
有効回答数	491		100.0%	53.8	100.0%	49.7	有効回答数	70		100.0%	53.9	
評価①				С		С	評価①				С	
設問② 健全かつ効率的で環境	記配慮	した水道	重事業が	なされて	ている。							
回答	件数	比率	得点	評価	前回得	点評価	回答	件数	比率	í	得点評価	
そう思う	34	6.3%	7.8%	7.8	7.6%	7.6	そう思う	4	5.2%	6.3%	6.3	
どちらかというとそう思う	174	32.4%	39.8%	29.9	45.1%	33.8	どちらかというとそう思う	20	26.0%	31.3%	23.4	
どちらとも言えない	158	29.4%	36.2%	18.1	30.2%	15.1	どちらとも言えない	29	37.7%	45.3%	22.7	
どちらかというとそう思わない	45	8.4%	10.3%	2.6	8.8%	2.2	どちらかというとそう思わない	6	7.8%	9.4%	2.3	
そう思わない	26	4.8%	5.9%	0.0	8.3%	0.0	そう思わない	5	6.5%	7.8%	0.0	
わからない	76	14.2%					わからない	12	15.6%			
無回答	24	4.5%					無回答	1	1.3%			
総数	537	100.0%					総数	77	100.0%			
有効回答数	437		100.0%	58.3	100.0%	58.7	有効回答数	64		100.0%	54.7	
評価②	評価② c					c 評価②					С	
市民実感度評価				O		c 事業者実感度評価						

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民·事業者満足度調査 平成24年5月実施】

#### 2-1 指標評価



[指標1の評価基準] 達成度①:「増加目標」達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下

[指標2の評価基準] 達成度①:「増加目標」a:97.5以上 b:97.0以上97.5未満 c:96.5以上97.0未満 d:96.0以上96.5未満 e:96.0未満

[目標設定パターン] pA:生駒のありたい姿を示す理想的な水準として設定、pB:国県の目標等に合わせて設定、pC:全国平均水準にあわせて設定、pD:過去のトレンド等を踏まえた実現可能な努力目標として設定

#### 2-2 代替指標

#### ■補助指標

No.	指標名	この指標について	主体	進捗	H22	H23	H24	H25	代替指標評価
1	たしていない配水池の箇所	市内に23箇所ある配水池のうち、耐震基準を満たしていない配水池の箇所数。旧耐震基準により設計された配水池について、平成20年度から22年	行政	目標		2	1	0	
	双(回)//	度にかけ詳細耐震診断を実施したところ、2箇所(中部配水池・真弓調整池) が耐震基準を満たしていないことが判		実績		2	2		θ

[評価基準] 達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下

### ■プロセス指標(参考)

No.	指標名	取組名	H22	H23	H24	H25
	耐震化された 配水池の箇所 数(箇所)	配水池耐震改良工事	詳細調査・詳細耐震診断	中部配水地実施設計	中部配水地 耐震改良工事	真弓調整池撤去工事

#### 2-3 客観指標評価

客観指標評価(代替指標に置き換えて平均値を算定)	0
--------------------------	---

### 3-1 市民の役割分担状況

### 3-3 事業者の役割分担状況

設問水の大切さを理解し、日頃から	節水を	心がけて	いる。		設問	設問 雨水などを利用し、水資源の有効活用を図っている。				
回答	件数	比率	í	导点評価		回答	件数	比	率	得点評価
十分取り組んでいる	147	29.4%	30.4%	30.4	十分取	り組んでいる	7	9.1%	9.3%	9.3
取り組んでいる	194	38.8%	40.2%	30.1	取り組ん	<b>んでいる</b>	13	16.9%	17.3%	13.0
少し取り組んでいる	122	24.4%	25.3%	12.6	少し取り	り組んでいる	19	24.7%	25.3%	12.7
あまり取り組んでいない	16	3.2%	3.3%	0.8	あまり耳	<b>取り組んでいない</b>	13	16.9%	17.3%	4.3
全く取り組んでいない	4	0.8%	0.8%	0.0	全く取り	J組んでいない	23	29.9%	30.7%	0.0
無回答	17	3.4%			無回答		2	2.6%		
総数	500	100.0%			総数		77	100.0%		
有効回答数	483		100.0%	74.0	有効回	答数	75		100.0%	39.3
評価				b		評価				d

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民·事業者満足度調査 平成24年5月実施】

#### 3-2 地域活動等の役割分担

役割項目	評価	役割分担状況
・地域活動の際に節水を心がける。 ・水質保全活動に参加、協力する。	b	・地域活動において節水を心がけている。

[評価基準] a:十分取り組んでいる b:取り組んでいる c:少し取り組んでいる d:あまり取り組んでいない e:全く取り組んでいない

#### 3-4 行政の役割分担

(1)市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組

#### A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の   目標水準	行政以外の 主体の役割	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
	水の大切さを理解してもらうため、水道事業などの啓発活動を行います。				る。	b	•平成24年7月1日発行。 •平成25年1月15日発 行。		その他	水道総務課
						b				

### B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	行政以外の 主体の役割	進捗上の課題	担当課
11	水の大切さを理解してもらうため、水道事業などの啓発活動を行います。	節水対策の推進	雨水等の利用や節水器具の利用等、水の大切さや節水に関する情報を市民に提供し、節水に対する意識を啓発します。 (H22~)生水だより、ホームページで啓発	る。 ・生水だよりや		水道総務課
12	良好な水源確保のため、森林保全活動などを支援します。	森林保全活動等の支援	地球環境を守るとともに水源を保護するため、森林の清掃、森林保全活動等を支援します。 (H23)前提となる地下水の状況把握のため、井戸水位の変動等のデータ整理	・森林の清掃と 保全活動に参 加する	具体的な施策の検討	水道総務課

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

# (2)行政が主体的に実施する取組状況

# A 部の仕事目標設定事業

∇組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の 目標水準	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
21	安定した水道水 の供給が行える よう原水を確保 します。	安定水源の確保	安定した自己水の確保を図るため、効率的な井戸の浚渫工事を実施する。	11本の浚渫工事	С	・7本の浚渫工事を実 施。	・県水の受水量と自己水の揚水量を調整したことにより、4本の浚渫工事が不要となった。	The state of the	工務課 浄水場
		安定水源の確保	安定した自己水の確保を図るため、第40号井の更新工事を実施する。	工事完了する。 (平成25年3月までに)	b	·平成25年3月21日 工事完了。			工務課 浄水場
		安定水源の確保	安定した自己水の確保を図るため、2本の井戸の現場操作盤等の 更新工事を実施する。	工事完了する。 (平成25年3月ま でに)	С	•平成25年2月7日契約 完了。	・盤製作メーカーの製作が遅れため。		工務課净水場
22		水質管理・水質 監視の強化	水質監視の強化を図るため、水質 監視システム改良工事を実施す る。	工事完了する。 (平成25年3月までに)	b	•平成25年3月25日 工事完了。		その他	工務課 浄水場
23			業務の効率化、経費の節減等を目指し、水道料金システムの再構築を行う。	水道料金システムの構築、本稼動、営業係移転に伴う環境整備を行う。 (平成24年10月までに)	b	・9月末をもって、システムの再構築完了。			水道総 務課
		財政基盤の強化	県営水道の料金改定等に伴い、水 道料金の見直しについて検討す る。	見直し結果を取りまとめる。 (平成25年3月までに)	b	・平成25年4月分の水道 料金より、値下げを実施 した。			水道総務課
		財政基盤の強化	新会計基準に基づき、保有資産を できる限り時価評価とする。	会計処理を検討 する。 (平成25年3月ま でに)	b	・減損会計の対象となる土地の評価を行った。		その他	水道総務課
		財政基盤の強化	水道局の未利用地を現状の使用 実態に合わせることにより、所管 区分の明確化を図る。	土地購入の経緯 の調査を実施 し、概要を取りま とめる。 (平成25年3月までに)	b	・土地購入の経緯及び 将来の活用の有無につ いて、結果を取りまとめ た。			水道総 務課
24	災害時でも安定 した水道水供給 が行えるよう、施 設の耐震化及び 設備の改良を図 ります。	配水池補強工事	災害時でも安定した水道水の供給 を行えるよう中部配水池耐震補強 工事を実施する。	-	а	・平成25年2月28 日 上載土の撤去及び擁壁 工事等全ての工事が完 了。		その他       ま画       そのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	工務課浄水場
		管路の更新事業	山崎浄水場から小瀬配水池を送水するルートを見直し、送水管の 更新費用及び動力費の削減を図る。	ルート変更に伴 う小瀬新中継ポ ンプ場の設置方 針をまとめる。 (平成25年3月までに)	b	・県水道局と協議を実施 し、新たな県営水道の受 水地点について、了解を 得た。			水道総 務課 工務課 浄水場
		領等の見直し	水道業務における危機管理対策 の一層の強化・充実を図るため、 要領やマニュアルの見直しを行う。	危機管理対策要 領及び同マニュ アルの見直しを 行う。 (平成25年3月までに)	С	<ul><li>見直し作業中。</li></ul>	・地域防災計画との整合を図るため、その見直しの動向を勘案したため。		務課
		危機管理体制の 強化	緊急時の給水設備操作講習会を 実施する。	2回実施する。 (平成25年3月までに)	а	・講習対象者に施設の 管理者を加えて、3回実 施。		その他	水道総 務課
		水道施設耐震診 断業務	災害時でも安定した水道水の供給 が行えるよう、施設の耐震化及び 設備の改良を図る。	山崎浄水場の耐 震診断を実施す るため、対象施 設の選定を行 う。	b	・耐震診断施設の選定 完了。			水道総 務課

		管路の更新事業	災害時でも安定した水道水の供給 が行えるよう、老朽管の更新を計 画的に行う。		С	•11本の工事を発注。	・関連工事の中止に伴い、移設工事7本が不要となったことによる。	実施計画	工務課
		相互融通連絡管 整備事業	災害時における生活用水の確保を 図るため、四條畷市と相互の配水 管を連絡する施設を設置する。		b	•工事完了。		実施計画	工務課
		真弓配水場送水 管改良事業	真弓配水場内において、送水管の 改良工事を行い、真弓調整池の機 能を停止し、施設を撤去する。		b	・事故もなく、全て完了。		実施計画	工務課
25		力発電施設建設	温室効果ガスの削減を図るため、 山崎浄水場に小水力発電施設を 建設する。	工事完了する。 (平成25年3月までに)	b	·平成25年3月18日 工事完了。		実施計画	工務課 浄水場
27	水の有効利用・ 節水意識の高揚 が図れるよう、 漏水調査や節水 についての調 査・研究を行い ます。		漏水防止対策として、効率的な漏 水調査を実施する。	漏水調査業務を 発注する。 (平成24年8月までに) 漏水調査の補完 として、職員で2回 実施する。 (平成25年3月までに)	а	・7月に調査業務を発注。 注。 ・補完対応は、4廻り実施。		その他	工務課
		水の有効活用	漏水防止対策として、漏水防止工事を実施する。	老朽化した給水 管を他の工事な どに合わせ、40 件以上の修繕工 事を実施する。 水道の有効率 98% (平成25年3月ま でに)	а	・47件の漏水予防工事を 完了。 水道の有効率98%		指標	工務課
		行政が主体的	りに実施する取組状況		b				

#### B 経営的実施計画事業

B 経済	<b>常的美施計</b> 画事業				
取組No.	取組項目	事業名	事業内容	進捗上の課題	担当課
21	安定した水道水の供給が行えるよう原水を 確保します。	安定水源の確保	・安定給水のための水源の確保 通常時はもとより、非常時の対応を考慮して、地 下水や奈良県営水道からの受水量を確保します。 (H21~)地下水・奈良県営水道からの受水量の 確保		工務課 浄水場
22	安全な水道水の供給を図るため、水質保 全検査体制・技術の充実を図ります。	水質管理・水質監視の強化	・奈良県営水道との連携の強化 奈良県営水道との連携を強化し、事故時における情報連絡等を密なものにします。 ・給水管末の水質監視の充実 既設の給水管末用水質監視設備の定期点検の 内容を強化します。		工務課浄水場
23	マネジメントサイクル(PDCA)を実施し、健全で効果的・効率的な事業経営を行います。	財政基盤の強化	財政基盤の一層の強化に向け、企業債の繰上償還、国庫補助制度等の活用を行います。 (H21)繰上償還 (H22~)資金需要に基づき、より細かな資金運用 (H24)国庫補助制度調査	ニューの情報収集とその	
24	災害時でも安定した水道水供給が行えるよう、施設の耐震化及び設備の改良を図ります。	健全な財政基盤の維持	・財政基盤の強化(国庫補助制度等の活用) 施設整備において、国庫補助制度等を可能な限 り活用し、上下水道部の財務負担の軽減を図りま す。	中部配水池耐震補強、 及び小水力発電施設に ついては、事業内容が 補助要件に該当しない ため、国庫補助を受ける ことができない。	工務課 浄水場
26	水資源の有効活用を図るため、雨水などを 利用する手法の調査を行います。	雨水等の有効利用に向けての技 術調査	雨水等の有効利用について、技術調査します。 (H24)真弓浄水場内に雨水タンク設置→雨水を水 質調査後、散水利用		水道総 務課

27	水の有効利用・節水意識の高揚が図れる よう、漏水調査や節水についての調査・研究を行います。	・漏水調査等の継続的実施 漏水調査は、現在と同様に、継続して毎年実施します。なお、宅内の給水管については、お客様の 財産であることから、個々において適正な維持に 努めていただけるよう、啓発します。 (H22)実施 (H23)実施	工務課
28	第5次拡張事業の計画的な遂行を図ります。	「生駒市水道ビジョン」における具体的な施策(アクションプラン)を確実に実施するため、PDCAサイクルを取り入れ、計画の進捗管理や見直しを行います。 (H23)水道ビジョン進行管理体制の確立	水道総 務課

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

#### 4 総合評価

			H22	H23	H24
1 目指す姿の	准性度	市民実感度	С	С	c
1 日相り安の	進抄及	事業者実感度	-	С	С
↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑					
2 客観指標評	価		С	С	c
2(客観) d 2ランク以上の乖			・客観指標評価は2つと少ないため、 直接的に結びつかない「部の仕事目標」で設定した事業や経常的事業の 評価とズレが生じる場合もある。 ・水道水は、「24時間いつでもどこでも 安定的に、安心して使用できるもの」と いう市民意識が高いため。		
	₫	ī 民	b	b	b
(m ±1 1) 1=	地	!域活動等	b	Ь	b
3 役割分担 状況	哥	業 者	b	d	d
	行 政	支援する取組	а	Ь	b
	II IIX	主体的な取組	b	b	b
総合評価(主	総合評価(主担当課の内部評価)		С	С	С
現状の課 (内部評価が					

評価基準] A:目標が十分に達成されている B:目標がかなり達成されている C:目標がそこそこ達成されている D:目標があまり達成されていない E:目標が達成されていない

進捗状況の内部評価 についての意見		
今後の取組についての意見	前年度 最終評価	С
内部評価を変更した場合の理由	最終評価	

まちづくりの目標	5	地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力あふれるまち
施策の大綱	2	農業の振興
基本施策	1	農業

目指す姿

①学校給食や小売店舗などでの地場農産物の販売量が増加し、地産地消が拡大している。 ②遊休農地の活用が図られている。

# 1 目指す姿の進捗度

- 日田9安の延沙皮												
設問① 学校給食や小売店舗な	どでの‡	也場農産	物の販売	も量が増	曾加し、地	<b></b> 上産地消	が拡大している。					
1-	·1 市民	実感度	評価				1-2 事業	者実感度	<b>E評価</b>			
回答	件数	比率	得点	評価	前回得	点評価	回答	件数	比率	1	得点評価	
そう思う	32	6.0%	8.7%	8.7	4.6%	4.6	そう思う	2	2.9%	3.7%	3.7	
どちらかというとそう思う	130	24.2%	35.3%	26.5	31.5%	23.6	どちらかというとそう思う	13	18.8%	24.1%	18.1	
どちらとも言えない	136	25.3%	37.0%	18.5	34.6%	17.3	どちらとも言えない	21	30.4%	38.9%	19.4	
どちらかというとそう思わない	44	8.2%	12.0%	3.0	17.2%	4.3	どちらかというとそう思わない	10	14.5%	18.5%	4.6	
そう思わない	26	4.8%	7.1%	0.0	12.1%	0.0	そう思わない	8	11.6%	14.8%	0.0	
わからない	143	26.6%					わからない	13	18.8%			
無回答	26	4.8%					無回答	2	2.9%			
総数	537	100.0%					総数	69	100.0%			
有効回答数	368		100.0%	56.7	100.0%	49.8	有効回答数	54		100.0%	45.8	
評価①				ССС		С	評価①				С	
設問② 遊休農地の活用が図ら	れている	5.										
回答	件数	比率	得点	評価	前回得	点評価	回答	件数	比率	1	得点評価	
そう思う	9	1.7%	2.6%	2.6	2.8%	2.8	そう思う	1	1.4%	1.8%	1.8	
どちらかというとそう思う	46	8.7%	13.4%	10.0	19.5%	14.6	どちらかというとそう思う	7	10.1%	12.3%	9.2	
どちらとも言えない	144	27.3%	41.9%	20.9	35.5%	17.8	どちらとも言えない	18	26.1%	31.6%	15.8	
どちらかというとそう思わない	98	18.6%	28.5%	7.1	19.9%	5.0	どちらかというとそう思わない	19	27.5%	33.3%	8.3	
そう思わない	47	8.9%	13.7%	0.0	22.3%	0.0	そう思わない	12	17.4%	21.1%	0.0	
わからない	161	30.5%					わからない	10	14.5%			
無回答	23	4.4%					無回答	2	2.9%			
総数	528	100.0%					総数	69	100.0%			
有効回答数	344		100.0%	40.7	100.0%	40.2	有効回答数	57		100.0%	35.1	
評価②				d	d		評価②				d	
市民実感度評価				С		С	事業者実感度評価				c	

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民·事業者満足度調査 平成24年5月実施】

### 2-1 指標評価

No.	指標名	この指標について	指標の動向							
1	遊休農地の面 積(アール)	現在耕作されておらず、今後も耕作され る見込みのない農地の面積。	12,000 計画当初	直直近值	目指す値					
		遊休農地が拡大する傾向にある中、遊 休農地を紹介する制度の創設などによ	11,000 10,955 H21	H24	H25					
担当課	指標区分	り、遊休農地の拡大を防ぎ、減少することを目指します。	10,955	10,015	減少					
経済振 興課	重点指標		9,500	標 達成度②	評価					
	アウトプット		9,000 H21 H22 H23 H24 H25 減少	100%以上	а					
	目標設定 パターン	指標の把握方法(数値の出所)	水稲生産実施計画書	調査サイクル	1年					
	pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	<外的要因の有無:□有 □無> 							
1	学校給食用農 産物作付面積	学校給食用の農産物を作付するために 利用されている農地の面積。	35 32.0 32.0 計画当初	直直近値	目指す値					
	食育の推進を図る	食の安全が求められる中、地産地消や食育の推進を図るため、農家等の協力	35 30 25 -194 - 21.2 H21	H24	H25					
		を得ながら、作付面積の拡大を目指します。	19.4	32.0	29.1					
担当課	指標区分		10		評価					
経済振 興課	重点指標 アウトプット		33.0 H21 H22 H23 H24 H25 26.7	173%	а					
	目標設定パターン	指標の把握方法(数値の出所)	現地確認(課のデータ)	調査サイクル	1年					
	pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	<外的要因の有無:□有 □無>							
1	黒大豆の作付 面積(アール)	黒大豆が作付されている農地の面積。 黒大豆の産地化を進めるため、作付し	600 計画当初	直直近值	目指す値					
		やすい環境整備を行い、作付面積の増加を目指します。	550 500 518.4 479.0 H21	H24	H25					
			450 474.8 469.0 518.4	574.0	544.3					
担当課	指標区分		400	標 達成度①	評価					
経済振 興課	重点指標 アウトプット		300 H21 H22 H23 H24 H25 537.8	286%	а					
	目標設定 パターン	指標の把握方法(数値の出所)	水稲生産実施計画書	調査サイクル	1年					
	pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	<外的要因の有無:□有 □無>							
	客観指標評価									

[評価基準] 達成度①:「増加目標」・達成度②:「減少目標」達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下 [目標設定パターン] pA:生駒のありたい姿を示す理想的な水準として設定、pB:国県の目標等に合わせて設定、pC:全国平均水準にあわせて設定、pD:過去のトレンド等を踏まえた実現可能な努力目標として設定

### 3-1 市民の役割分担状況

### 3-3 事業者の役割分担状況

設問	設問 地場農産物に関心を持っている。						設問 地場農産物の販売コーナーを設置している。				
回答		件数	比率	得点評価			回答	件数	比率	1	<b>导点評価</b>
十分取り	り組んでいる	125	23.3%	24.9%	24.9	十分取	り組んでいる	3	4.3%	15.0%	15.0
取り組み	んでいる	149	27.7%	29.7%	22.3	取り組んでいる		1	1.4%	5.0%	3.8
少し取り	J組んでいる	125	23.3%	24.9%	12.5	少し取り組んでいる		4	5.8%	20.0%	10.0
あまり取	収り組んでいない	68	12.7%	13.5%	3.4	あまり取り組んでいない		5	7.2%	25.0%	6.3
全く取り	組んでいない	35	6.5%	7.0%	0.0	全く取り	組んでいない	7	10.1%	35.0%	0.0
無回答		35	6.5%			無回答		39	56.5%		
総数		537	100.0%			該当した	はい	10	14.5%		
有効回:	答数	502		100.0%	63.0	総数		69	100.0%		
	評価				b	有効回	答数	20		100.0%	35.0
【市民·事	【市民·事業者満足度調查 平成24年5月実施】					評価					d

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

# 3-2 地域活動等の役割分担

役割項目	評価	役割分担状況
・食に関するイベントの際に地場農産物を使う。 ・農地の保全活動などに協力する。	а	・農業祭及び小売店頭等で地場野菜を使用した食育の試食などが行われている。 ・遊休農地活用事業で、提供のあった遊休農地の利用が堅調である。

[評価基準] a:十分取り組んでいる b:取り組んでいる c:少し取り組んでいる d:あまり取り組んでいない e:全く取り組んでいない

#### 3-4 行政の役割分担

(1)市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組

### A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の	行政以外の	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
12		遊休農地活用事業	生活環境の保全や地域交流の促進、生きがいづくり、地産地消の促進を図るため、遊佐との農地活用事業を促進する。	面積	主体の役割 遊休農地の積極 的利用		市外の方の利用可能なような要綱等の改正を行い、面積増加に努めた	利用者の転勤、体調等による契約解除、及び地主	実施計画指標	経済振興課
	農業基盤の整備や農地の保全等を図るため、ため池や農道、水路のの後を支援します。	業	有害鳥獣から農 作物の被害を防 止する。	有害鳥獣の積極 的な捕獲	有害鳥獣のエサ となる農作物残 渣や放任果樹の 適正な管理	b	アライグマ89頭、イノシシ 108頭捕獲するなど、積 極的な捕獲に努めてい る。		その他	経済振興課
	市民・地域活動	助等・事業者が	役割を果たせる。	よう支援する取締	b					

# B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	行政以外の 主体の役割	進捗上の課題	担当課
	地産地消を推進するため、市民や事業者が生産、販売、購入、消費できる機会の拡大を図ります。			地場野菜の積極 的利用		経済振興課
	農業基盤の整備や農地の保全等を図るため、ため池や農道、水路等の農業用施設の改修を支援します。		地元の農業用施設の改修要望に応じ、現 地確認のうえ、助成。	農業用施設の維持管理に努め、 農地の保全を図 る。		経済振 興課

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

### (2)行政が主体的に実施する取組状況

# A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の 目標水準	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
	地産地方で大きれば、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないでは、まないでは、大きないでは、まないでは、これでは、これがいいでは、これがいいでは、これがいいでは、これがいいでは、これがいいでは、これがいいでは、これがいいでは、これがいいでは、これがいいでは、これがいいでは、これがいいでは、これがいいでは、これがいいではないでは、これがいいでは、これがいいではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	<b>業</b>	地産地消を推進するため、青空市場の開設など地場農産物の購入機会及び場所の拡大や学校給食への食材提供の拡大を図る。	学校給食用農産 物作付面積 1a増加		て、学校給食用農産物の 作付け増加や、また、青	希望者が現れず、前年度	指標	経済振 興課
	を進めるため、	業	生駒市で作付けを推奨している黒 大豆の地産地消を進めるため、作 付けの拡大及び新たな加工用とし ての販売先の確保を図る。	積	а	平成23年度作付け面積 469aから平成24年度 574aへ105a増加した。		指標	経済振 興課
		行政が主体的	りに実施する取組状況	b				,	

#### B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	進捗上の課題	担当課
	地産地消を推進するため、青空市場の開設など地場農産物の購入機会及び場所の拡大や、学校給食への食材提供の拡大を図ります。	地産地消推進事業	青空市場の開催、小売店の産直コーナー協力等。		経済振 興課
22	出荷農家や農業組織等の協力を得なが ら、積極的に販売用野菜の作付けを促進 します。	地産地消推進事業	学校給食での利用、販路拡大、イベントでのPRなどを実施。		経済振 興課
24	市内に4ヶ所ある市民農園を運営することにより、市民の農業体験、交流の促進を図ります。		市内4箇所280区画の市民農園の管理、運営。		経済振 興課

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

### 4 総合評価

			H22	H23	H24
1 目指す姿の	准性度	市民実感度	С	С	С
日相り安の	進抄及	事業者実感度	-	С	С
1(市民)と2(客観)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析 ↓					遊休農地の減少や学校給食や黒大豆 の作付けについて、成果が見えにくいと いう側面がある。
2 客観指標評	価		С	b	а
2(客観) と 2ランク以上の乖		の評価に	指標の「黒大豆の作付面積」については、補助金を創設するなど生産拡大に努めたが、担い手不足等により作付が拡大されなかったため。		
	₫	ī 民	а	b	b
	地	域活動等	а	а	а
3 役割分担 状況	4	事業 者	b	d	d
	行 政	支援する取組	а	b	b
	11 収	主体的な取組	а	b	b
総合評価(主	E担当課	の内部評価)	С	С	В
現状の誤 (内部評価か					

[評価基準] A:目標が十分に達成されている B:目標がかなり達成されている C:目標がそこそこ達成されている D:目標があまり達成されていない E:目標が達成されていない

進捗状況の内部評価 についての意見		
今後の取組についての意見	前年度 最終評価	С
内部評価を変更した場合の理由	最終評価	

まちづくりの目標	5	地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力あふれるまち
施策の大綱	3	商業・工業の振興
基本施策	1	企業立地

目指す姿

①用途地域に対応した企業が立地し、ライフスタイルに合わせた労働ができている。 ②立地環境が魅力的なものとなっており、多数の企業が立地している。

### 1 目指す姿の進捗度

設問① 用途地域に対応した企	業が立	地し、ラ	イフスタ	イルに台	合わせた	:労働が	できている。					
1-	1 市民	実感度	評価				1-2 事業者	<b>当実</b> 感度	[評価			
回答	件数	比率	得点	評価	前回得	点評価	回答	件数	比率	1	得点評価	
そう思う	11	2.2%	3.3%	3.3	1.6%	1.6	そう思う	0	0.0%	0.0%	0.0	
どちらかというとそう思う	43	8.6%	13.0%	9.7	8.8%	6.6	どちらかというとそう思う	9	11.7%	14.3%	10.7	
どちらとも言えない	155	31.0%	46.8%	23.4	35.7%	17.9	どちらとも言えない	29	37.7%	46.0%	23.0	
どちらかというとそう思わない	59	11.8%	17.8%	4.5	29.1%	7.3	どちらかというとそう思わない	15	19.5%	23.8%	6.0	
そう思わない	63	12.6%	19.0%	0.0	24.8%	0.0	そう思わない	10	13.0%	15.9%	0.0	
わからない	150	30.0%					わからない	13	16.9%			
無回答	19	3.8%					無回答	1	1.3%			
総数	500	100.0%					総数	77	100.0%			
有効回答数	331		100.0%	40.9	100.0%	33.3	有効回答数	63		100.0%	39.7	
評価① d d				d	評価①				d			
設問② 立地環境が魅力的なも	のとなっ	っており、	、多数の	企業が	立地して	こいる。						
回答	件数	比率	得点	評価	前回得	点評価	回答	件数	比率	ŧ	得点評価	
そう思う	10	1.9%	2.5%	2.5	0.2%	0.2	そう思う	0	0.0%	0.0%	0.0	
どちらかというとそう思う	28	5.2%	7.1%	5.3	3.1%	2.3	どちらかというとそう思う	3	3.9%	4.6%	3.5	
どちらとも言えない	149	27.7%	37.6%	18.8	21.8%	10.9	どちらとも言えない	24	31.2%	36.9%	18.5	
どちらかというとそう思わない	103	19.2%	26.0%	6.5	32.8%	8.2	どちらかというとそう思わない	20	26.0%	30.8%	7.7	
そう思わない	106	19.7%	26.8%	0.0	42.1%	0.0	そう思わない	18	23.4%	27.7%	0.0	
わからない	109	20.3%					わからない	12	15.6%			
無回答	32	6.0%					無回答	0	0.0%			
総数	537	100.0%					総数	77	100.0%			
有効回答数	396		100.0%	33.1	100.0%	21.6	有効回答数	65		100.0%	29.6	
評価②	評価② d e				е	評価②				е		
市民実感度評価 d				d	事業者実感度評価				d			

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民·事業者満足度調査 平成24年5月実施】

# 2 客観指標評価

No.	指標名	この指標について	指標(	の動向		
	所数[従業員4	従業員が4人以上いる市内製造業の 事業所数。 製造業の事業所数が減少傾向にある 中で、北田原準工業地域等への製造	130	計画当初値 H20	直近値 H22	目指す値 H25
	業を中心とした企業立地に関する支援や環境を整備することで、製造業の		114 110	117	110	増加
担当課	指標区分	事業所数の増加を目指します。	90	H22年度客観目標	達成度①	評価
経済 振興	重点指標 アウトカム		H20 H21 H22 H23 H24 H25	増加	0%	е
課	目標設定パターン	指標の把握方法(数値の出所)	工業統計調査		調査サイクル	1年
	pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	<外的要因の有無:■有 □無> 景気低迷の長期化等による廃業等に伴い、新設企第	<b>業がそれらを下回</b>	ったと思われる。	
		従業員が4人以上いる市内製造業の 事業所の従業者数。	2,700	計画当初値	直近値	目指す値
	人以上の事業 財造業の事業所数が減少傾向にある 内](人) 中で、北田原準工業地域等への製造	2,500	H20	H22	H25	
		業を中心とした企業立地に関する支援や環境を整備することで、製造業の	2,300	2,649	2,489	増加
担当課	指標区分	従業者数の増加を目指します。	2,100	H22年度客観目標	達成度①	評価
経済 振興	重点指標 アウトカム		2,000 H20 H21 H22 H23 H24 H25	増加	0%	е
課	目標設定 パターン	指標の把握方法(数値の出所)	工業統計調査		調査サイクル	1年
	pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	<外的要因の有無:■有 □無> 景気低迷の長期化等による廃業等に伴い、新設企業	業がそれらを下回・	ったと思われる。	
3	市内で従業し ている市民の	生駒市内に居住し、市内で働いてい る就業者の数。	15,000	計画当初値	直近値	目指す値
	数(人)	企業誘致などを進め、市内で働く機会 の創出を図ることによって、市内で働	14,500 14,599	H17	H22	H25
		く市民が増加することを目指します。	13,500	14,599	13,469	増加
担当課	指標区分		13,000 13,469	H23年度客観目標	達成度①	評価
経済 振興	重点指標 アウトカム		12,500 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25	増加	0%	е
課	目標設定 パターン	指標の把握方法(数値の出所)	国勢調査		調査サイクル	5年
	pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	<外的要因の有無:■有 □無> 企業では、機械設備の合理化が進められていること:	から就業機会が何	び悩んでいると思	われる。
			客観指標評価			ө

[評価基準] 達成度①:「増加目標」・達成度②:「減少目標」達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以 [目標設定パターン] pA:生駒のありたい姿を示す理想的な水準として設定、pB:国県の目標等に合わせて設定、pC:全国平均水準にあわせて設定、pD:過去のトレンド等を踏まえた実現可能な努力目標として設定

# 3-1 市民の役割分担状況

# 3-3 事業者の役割分担状況

設問 企業立地に対して理解、協力している。					設問	設問市内での積極的な立地や施設の拡充を図っている。				
回答	件数	比率	í	得点評価		回答	件数	比率	í	<b>导点評価</b>
十分取り組んでいる	19	3.6%	3.8%	3.8	十分取り組んでいる			6.5%	6.8%	6.8
取り組んでいる	41	7.8%	8.2%	6.2	取り組んでいる			16.9%	17.6%	13.2
少し取り組んでいる	103	19.5%	20.6%	10.3	少し取り組んでいる		21	27.3%	28.4%	14.2
あまり取り組んでいない	152	28.8%	30.5%	7.6	あまり取り組んでいない		18	23.4%	24.3%	6.1
全く取り組んでいない	184	34.8%	36.9%	0.0	全く取り	月組んでいない	17	22.1%	23.0%	0.0
無回答	29	5.5%			無回答		3	3.9%		
総数	528	100.0%			総数		77	100.0%		
有効回答数	499		100.0%	27.9	有効回	答数	74		100.0%	40.2
評価 e				е	評価					d

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民·事業者満足度調査 平成24年5月実施】

#### 3-2 地域活動等の役割分担

役割項目	評価	役割分担状況
・企業立地に対して理解、協力する。 ・就職支援についての活動に取り組む。	С	・新規立地企業等の認定企業については、環境保全協定の締結等も含め地域環境への配慮活動を行っている。また、各団地内においても、自主的な美化活動等が行われている。

[評価基準] a:十分取り組んでいる b:取り組んでいる c:少し取り組んでいる d:あまり取り組んでいない e:全く取り組んでいない

### 3-4 行政の役割分担

(1)市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組

### A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の 目標水準	行政以外の 主体の役割	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
	企業誘致に関する各施策についての情報を積極的に提供します。	る情報提供	る諸施策につい ての情報を、 様々な機会を捉 え、積極的に提	情報の発信 企業誘致施策を まとめたパンフ	するとともに立 地企業と地域と の協力関係を理 解する。		HPとともに、各種イベント 等に参加し積極的な誘致 活動及びパンフレットの 配布など情報提供に努め た。		実施計画	経済振 興課
	市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組状況									

# B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	行政以外の 主体の役割	進捗上の課題	担当課
11	企業誘致に関する各施策についての情報 を積極的に提供します。		立地区域、優遇制度、企業誘致施策立案プロジェクトの提言内容等の情報を掲載	誘致施策を理解 するとともに立 地企業と地域と の協力関係を理 解する。		経済振興課
13	生駒市地域職業相談室についての情報の 提供・周知を図ります。		ローワークについての情報提供と周知を図	(事業者)求人情報をハローワークへ提供する		経済振 興課
14	市内企業との連携により、市内の就職情報を提供できる環境の整備を行います。	ワークの設置	奈良労働局が実施する生駒市ふるさとハローワークにおいて、求人情報の提供及び 就職相談等を実施			経済振 興課

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

### (2)行政が主体的に実施する取組状況

#### A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の 目標水準	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
21	税制面や補助制 度の創設、立地 要件の緩和など 立地企業への支 援を推進しま す。	推進	企業立地促進補助制度の運用、各種イベントでのPRなどにより、新たな立地企業の誘致を推進する。	企業誘致目標数 2社	а	積極的な誘致活動により、目標を上回る5社の 誘致を順調に進めている。		実施計画	経済振興課
		数[従業員4人以 上の事業所]の 増加	製造業の事業所数が減少傾向にある中で、北田原準工業地域等への製造業を中心とした企業立地に関する支援や環境を整備することで、製造業の事業所数の増加を目指します。	数の増	b	高山第一工区の幸信プラスチック(株)の立地を始め、国道163号線での移転に伴なう企業の流失を防ぐなど、減少を防止し、増加に努めている。		指標	経済振興課
22	しつつ、北田原	への連絡道路の 整備、渋滞緩和 施策の実施	北田原中学校線整備事業 L=500m、幅員=12m	整備延長 L=100m 事業用地の確保 A=1,218㎡ (平成25年3月)	С	用地1,048㎡を確保した。	一部地権者の合意が得られなかった。	実施計画	土木課
		行政が主体的	に実施する取組状況		Ь			•	

### B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	進捗上の課題	担当課
	税制面や補助制度の創設、立地要件の緩和など立地企業への支援を推進します。	生駒市企業立地促進補助金	興及び雇用機会の拡大を図るため、立地する企業 に対し、補助金を交付する。	•	経済振 興課
	交通アクセスの高さや豊かな自然環境を背景に、就労者の生活や居住環境に恵まれた立地条件であることをPRしながら、企業や教育施設、研究施設の誘致に取り組みます。		市のホームページ及びパンフレットにより、立地区域、優遇制度、企業誘致施策立案プロジェクトの提言内容等の情報を掲載		経済振興課

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

# 4 総合評価

			H22	H23	H24	
1 日北士次の	**	市民実感度	d	d	d	
1 目指す姿の	進抄及	事業者実感度	- d		d	
↑ 1(市民)と2(客観)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析 ↓						
2 客観指標評	価		е	е	е	
2(客観)。 2ランク以上の乖			景気の低迷、機械設備の合理化等により、客観指標評価が伸び悩んだことが原因だと考える。	景気低迷の長期化及び機械設備の 合理化等により客観的指標が伸び悩 み、その達成が困難と考えられる。	景気低迷の長期化及び機械設備の 合理化等により客観的指標が伸び悩 み、その達成が困難と考えられる。	
	₫	ī 民	b	е	е	
	地	域活動等	b	b	С	
3 役割分担 状況	퉥	事業 者	b	d	d	
	行 政	支援する取組	b	b	b	
	11 収	主体的な取組	а	b	b	
総合評価(主	総合評価(主担当課の内部評価)		С	В	С	
	現状の課題と今後の取組 (内部評価がD以下の場合記入)					

[評価基準] A:目標が十分に達成されている B:目標がかなり達成されている C:目標がそこそこ達成されている D:目標があまり達成されていない E:目標が達成されていない

進捗状況の内部評価 についての意見		
今後の取組についての意見	前年度 最終評価	С
内部評価を変更した場合の理由	最終評価	

まちづくりの目標	5	地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力あふれるまち
施策の大綱	3	商業・工業の振興
基本施策	2	商工業

目指す姿

①魅力ある商業機能が整い、市内での消費が拡大されている。 ②商工業者の経営が安定し、市内での企業活動が活発に行われている。

# 1 目指す姿の進捗度

一口口,安切定沙皮												
設問① 魅力ある商業機能が整	い、市内	での消	費が拡大	されて	いる。							
1-	1 市民	実感度	評価				1-2 事業者実感度評価					
回答	件数	比率	得点	評価	前回得	点評価	回答	件数	比率	得点評価		
そう思う	5	0.9%	1.1%	1.1	1.7%	1.7	そう思う	0	0.0%	0.0%	0.0	
どちらかというとそう思う	64	12.1%	14.5%	10.9	7.3%	5.5	どちらかというとそう思う	8	11.6%	12.5%	9.4	
どちらとも言えない	136	25.8%	30.9%	15.5	28.1%	14.1	どちらとも言えない	16	23.2%	25.0%	12.5	
どちらかというとそう思わない	136	25.8%	30.9%	7.7	30.0%	7.5	どちらかというとそう思わない	23	33.3%	35.9%	9.0	
そう思わない	99	18.8%	22.5%	0.0	33.0%	0.0	そう思わない	17	24.6%	26.6%	0.0	
わからない	67	12.7%					わからない	4	5.8%			
無回答	21	4.0%					無回答	1	1.4%			
総数	528	100.0%					総数	69	100.0%			
有効回答数	440		100.0%	35.2	100.1%	28.7	有効回答数	64		100.0%	30.9	
評価①	評価①			d e		е	評価①				d	
設問②商工業者の経営が安定	し、市内	での企	業活動か	「活発に	行われて	ている。						
回答	件数	比率	得点	評価	前回得	点評価	回答	件数	比率	1	得点評価	
そう思う	11	2.2%	3.5%	3.5	0.6%	0.6	そう思う	0	0.0%	0.0%	0.0	
どちらかというとそう思う	19	3.8%	6.0%	4.5	1.8%	1.4	どちらかというとそう思う	3	4.3%	4.9%	3.7	
どちらとも言えない	134	26.8%	42.4%	21.2	23.5%	11.8	どちらとも言えない	13	18.8%	21.3%	10.7	
どちらかというとそう思わない	81	16.2%	25.6%	6.4	32.2%	8.1	どちらかというとそう思わない	28	40.6%	45.9%	11.5	
そう思わない	71	14.2%	22.5%	0.0	41.9%	0.0	そう思わない	17	24.6%	27.9%	0.0	
わからない	165	33.0%					わからない	6	8.7%			
無回答	19	3.8%					無回答	2	2.9%			
総数	500	100.0%					総数	69	100.0%			
有効回答数	316		100.0%	35.6	100.0%	21.8	有効回答数	61		100.0%	25.8	
評価②				d		е	評価②				е	
市民実感度評価	i i			d		ө	事業者実感度評	価			d	

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民·事業者満足度調査 平成24年5月実施】

### 2 客観指標評価

No.	指標名	この指標について	指標の	)動向		
		小売業年間販売額/総人口。 商業の活性度合いを示す指標であり、	85 84	計画当初値	直近値	目指す値
		過去の10年間の販売額の推移と将来 人口を踏まえて、1人当たりの小売業の	83	H19	H19	H25
		年間販売額が増加することを目指します。	81	79.6	79.6	0.0
担当課	指標区分		79 - 79.6	H19年度 客観目標	達成度①	評価
経済振 興課	参考指標 アウトカム		77 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25	79.6	0%	е
	目標設定 パターン	指標の把握方法(数値の出所)	商業統計調査		調査サイクル	5年ごと
	pD	目標が未達成(c以下)の場合の理由	<外的要因の有無:□有 □無> (調査未実施のため記入できない)			
2	製造品出荷額等(万円)	製造品出荷額、加工賃収入額、修理料収入額の年間の合計額。	8,000,000	計画当初値	直近値	目指す値
		工業の活性度合いを示す指標であり、 北田原準工業地域等への製造業を中	7,000,000 6,000,000 5,000,000	H20	H22	H25
		心とした企業誘致を進めることで、製造品出荷額等の増加を目指します。		6,226,218	5,106,141	0
担当課	指標区分		5,176,830 5,106,141 4,000,000	H22年度 客観目標	達成度①	評価
経済振 興課	参考指標 アウトカム		3,000,000 H20 H21 H22 H23 H24 H25	6,444,668	-513%	е
	目標設定 パターン	指標の把握方法(数値の出所)	工業統計調査		調査サイクル	1年
	pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	<外的要因の有無:□有 ■無> 企業誘地施策については、平成22年度から開始	台しているが、実	ほうが出るには時	間を要する
			客観指標評価			Ф

[評価基準] 達成度①:「増加目標」・達成度②:「減少目標」達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下 [目標設定パターン] A:生駒のありたい姿を示す理想的な水準として設定、B:国県の目標等に合わせて設定、C:全国平均水準にあわせて設定、D:過去のトレンド等を踏まえた実現可能な努力目標として設定

### 3-1 市民の役割分担状況

### 3-3 事業者の役割分担状況

設問 できる限り市内で商品を購入するようにしている。				設問	設問 消費者のニーズにあった商品・サービスを提供している。						
	回答	件数	比率	í	导点評価		回答	件数	比	率	得点評価
十分取	り組んでいる	108	21.6%	22.5%	22.5	十分取	り組んでいる	13	18.8%	20.0%	20.0
取り組み	んでいる	154	30.8%	32.0%	24.0	取り組ん	んでいる	22	31.9%	33.8%	25.4
少し取り	J組んでいる	114	22.8%	23.7%	11.9	少し取り	月組んでいる	24	34.8%	36.9%	18.5
あまり取	収り組んでいない	69	13.8%	14.3%	3.6	あまり耳	対組んでいない	3	4.3%	4.6%	1.2
全く取り	組んでいない	36	7.2%	7.5%	0.0	全く取り	組んでいない	3	4.3%	4.6%	0.0
無回答		19	3.8%			無回答		4	5.8%		
総数		500	100.0%			総数		69	100.0%		
有効回:		481		100.0%	61.9	有効回	答数	65		100.0%	65.0
評価			b		評価				b		

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民·事業者満足度調査 平成24年5月実施】

#### 3-2 地域活動等の役割分担

役割項目	評価	役割分担状況
<ul><li>・商業活性化に向けた協議会に参画する。</li><li>・商工業に対する理解を深める。</li></ul>	b	中心市街地活性化協議会が定期的に開催され、関係者等で意見交換が行われている

# 3-4 行政の役割分担

# (1)市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組

# A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の 目標水準	行政以外の 主体の役割	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
12	商工業振興の主 体的な組織であ る生駒商工会議 所の活動に対す る支援を行いま す。	助成	商工業振興の主体的な組織である生駒商工会議所の活動に助成を実施する。	事業の実施	商工会議所が中 心となって、市 内商工業者等の 企業活動に関す る相談やパック アップを行う	b	適切な助成を実施している。		指標	経済振興課
		の小売業年間販 売額の増加	小額業をいる。 ・一点がある。 ・一点がある。 ・一点がある。 ・一点がある。 ・一点がある。 ・一点がある。 ・一点がある。 ・一点がある。 ・一点がある。 ・一点がある。 ・一点がある。 ・一点が自れる。 ・一点がある。 ・一点が自れる。 ・一。 ・一。 ・一。 ・一。 ・一。 ・一。 ・一。 ・一。 ・一。 ・一	の小売業年間販 売額の増	生駒駅100円 生物 100円 生物 100円 生物 100円 実施 100円 実施 100円 実施 100円 実施 100円 大小の 100円 大		いまこいバルの支援、いこまの逸品リーフレットの作成により市内消費拡大に努めた。		指標	経済振 興課
15		紹介	市内で出荷して いる工業製品の 紹介を行う。	の事業内容を紹 介する。			生駒市、生駒市観光協会のホームページに北田原工業団地のHPをリンクしてPRに努めた。		指標	経済振興課
	市民·地域活動	動等・事業者が	役割を果たせる。	よう支援する取締	b					

### B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	行政以外の 主体の役割	進捗上の課題	担当課
11	中小企業等の経営の安定化を支援するため、各種資金融資制度の活用促進や、生 駒商工会議所など関係機関と連携した取組を行います。		市内中小企業者の金融の円滑化を図るための事業及び設備資金に係る融資制度を実施	金融機関や信用		経済振興課
12	商工業振興の主体的な組織である生駒商 工会議所の活動に対する支援を行いま す。	商工会議所補助金		事業者に各種相 談業務を通じて 支援する。		経済振 興課
13	商工会議所など関係機関と連携し、商業活性化のための協議の機会を設けます。	産学官商工観光事業連 携事業 観光協会補助金	生駒市の4者が連携し、各々の特徴を活かして、市内の商工観光の活性化を図る。 生駒市の新しいお土産制作コンテスト、「いこまの逸品」リーフレットの制作、観光まっぷ、ハイキングマップの作成			経済振興課
14	商店街の活性化やにぎわいづくりに向けた 取組を支援します。	商工振興事業補助金 生駒市商工活性化提案 事業補助金 生駒市中小企業振興事 業補助金	街の活性化を図るイベントの実施に補助する。	け、事業者同士 が連携を図りな がら、イベント等 を実施する等、 地域を盛り上 げ、集客を図る	今後行われる商店街の活性化に向けての取組は、 当事者である商店の自主性や高い意欲を持って取り組めるような支援が必要である。	経済振
	市内の工業製品などを紹介する取組を行います。	企業立地ホームページに よるPR	ホームページをリンクし、会社概要などの	工業会と商工会 議所が連携を図 りながら、商工 業の振興に向け たPR等や仕組 みづくりを行う		経済振 興課

	場産業である竹製品の普及・啓発や後 者育成を図るための取組を支援します。			において後継者 育成に努めると ともに、地場産 業製品や技術の PRを行う		興課
--	---	--	--	---	--	----

Ī	17	高山竹林園を拠点とし、イベントやホーム	生駒・高山 竹あかりの夕	地場産業組合の参画のもと、竹を素材とし	地場産業組合を	経済振
		ページ、リーフレットなど様々な機会、媒体	ベ	た造形物とろうそくのあかりを用いた催しを	中心に、茶道協	興課
		を通じて、高山茶筌をはじめとする本市の		通して、市民や来園者に身近に竹に触れ、	会、ボランティア	
		地場産業の周知に努めます。		親しんでもらうとともに地場産業の認知に	などが協力し	
				努める	て、竹製品及び	
					高山地域をPR	
					する。	
L						

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

### 4 総合評価

			H22	H23	H24	
1 目指す姿の	准供店	市民実感度	е	d	d	
日相り安の	進抄及	事業者実感度	-	d	d	
1(市民)と2(客観)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析						
2 客観指標評	価		е	е	ө	
↑ 2(客観)と3(行政)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析 ↓			比較できない(指標等の資料に関して、結果が得られていないものもあるため)	比較できない(指標等の資料に関して、結果が得られていないものもあるため)	比較できない(指標等の資料に関して、結果が得られていないものもあるため) 商店街や市内での購入促進を図るイベント、事業を行ってきたが、直ぐにその成果が出る物でなく、継続的に行うことで、商店の売上の増、市内消費の増にむすびつくものと思われる。	
	₫	ī 民	b	b	b	
	地	!域活動等	b	b	b	
3 役割分担 状況	Į.	事業 者	b	b	b	
	行 政	支援する取組	а	b	b	
	1 1 11	主体的な取組	b	d	-	
総合評価(主担当課の内部評価)		の内部評価)	В В		В	
現状の課題と今後の取組 (内部評価がD以下の場合記入)						

[評価基準] A:目標が十分に達成されている B:目標がかなり達成されている C:目標がそこそこ達成されている D:目標があまり達成されていない E:目標が達成されていない

内部評価を変更した場合の理由	最終評価 <b>最終評価</b>	0
今後の取組についての意見	前年度	С
進捗状況の内部評価 についての意見		

まちづくりの目標	5	地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力あふれるまち
施策の大綱	4	観光と多様な交流の促進
基本施策	1	観光·交流

| | 目指す姿 本市の地域資源を活かした取組が進められ、観光地が来訪者でにぎわっているとともに、人々の交流が活発になっている。

### 1 目指す姿の進捗度

設問① 本市の地域資源を活か	した取組	且が進め	られ、観	光地が	来訪者で	にぎわ	っているとともに、人々の交流が活発にな	よってい	る。		
1-	1-1 市民実感度評価						1-2 事業者実感度評価				
回答	件数	比率	得点	評価	前回得	点評価	回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	9	1.7%	2.2%	2.2	0.8%	0.8	そう思う	0	0.0%	0.0%	0.0
どちらかというとそう思う	32	6.0%	7.8%	5.9	4.2%	3.2	どちらかというとそう思う	3	4.8%	5.6%	4.2
どちらとも言えない	122	22.7%	29.9%	15.0	18.8%	9.4	どちらとも言えない	16	25.4%	29.6%	14.8
どちらかというとそう思わない	119	22.2%	29.2%	7.3	.3 27.8% 7.0		どちらかというとそう思わない	12	19.0%	22.2%	5.6
そう思わない	126	23.5%	30.9%	0.0	48.4%	0.0	そう思わない	23	36.5%	42.6%	0.0
わからない	101	18.8%					わからない	9	14.3%		
無回答	28	5.2%					無回答	0	0.0%		
総数	537	100.0%					総数	63	100.0%		
有効回答数 408 1			100.0%	30.3	100.0%	20.3	有効回答数	54		100.0%	24.5
評価① d e					е	評価①				е	
市民実感度評価 d e					事業者実感度評価				ө		

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民·事業者満足度調査 平成24年5月実施】

#### 2-1 指標評価

No.	指標名	この指標について	指標の動向				
		本市の主要な観光地(宝山寺、スカイランド生駒、くろんど池キャンプ場、生駒	計画当初値	直近値	目指す値		
		山麓公園、高山竹林園)の来訪者数。 大都市近郊にありながら自然が豊かで	200 150 H20	H24	H25		
		あるという特性を活かし、身近に楽しめる観光や地域資源としての魅力のPR	171.5 169.8 164.0 162.0 164.0 171.5	164.0	201.0		
担当課		等に努め、観光地への来訪者数の増 加を目指します。	50 H24年度客観目標	達成度①	評価		
経済振 興課			H20 H21 H22 H23 H24 H25 195.1	-32%	е		
) ( II) (	アウトカム 目標設定	た神の神程士汁(粉体の山脈)		団本サノカル	1左		
	パターン	指標の把握方法(数値の出所)	本市の主要な観光地の来訪者数	調査サイクル	1年		
	pA	<外的要因の有無:□有 ■無> 目標が未達成(c以下)の場合の理由 観光協会のホームページ等を通じて生駒市の観光情報の発信を行っているところだ、充分にPRできていない。					

[評価基準] 達成度①:「増加目標」・達成度②:「減少目標」 達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下 [目標設定パターン] pA:生駒のありたい姿を示す理想的な水準として設定、pB:国県の目標等に合わせて設定、pC:全国平均水準にあわせて設定、pD:過去のトレンド等を踏まえた実現可能な努力目標として設定

### 2-2 代替指標

### ■補助指標

No.	指標名	この指標について	主体	進捗	H22	H23	H24	H25	代替指標評価
1	観光ボランティ アの案内数	観光ボランティアの実際の案内者数	行政	目標		0	100	200	
	(人)		市民	実績		0	700		a
		市が主催、共催、協力する観光イベントの数	行政	目標		0	6	6	
	**	<b>37 3</b> 4	市民	実績		0	13		a

[評価基準] 達成度①:「増加目標」・達成度②:「減少目標」達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下

#### ■プロセス指標

No.	指標名	取組名	H21	H22	H23	H24	H25	代替指標評価
		生駒市観光ボランティアガイド養成講座						
		活動実施に向けた研修						
	(人)	活動の開始、PR、認知度を高める						a
		観光客に質の高い案内を行う。						

[評価基準] a:目標が十分に達成されている b:目標がかなり達成されている c:目標がそこそこ達成されている d:目標があまり達成されていない e:目標が達成されていない

#### 2-3 客観指標評価

<b>南部地區</b> 器度 /小共业度12 = 2 + 4 = 2 = 2 + 1 + 4 + 4 + 1	
<b>客観指標評価</b> (代替指標に置き換えて平均値を算定)	а

#### 3-1 市民の役割分担状況

#### 3-3 事業者の役割分担状況

設問 友人・知人に生駒の魅力(観光地など)を伝えている。					設問 生駒の魅力を発信している。				
回答 件数 比率 得点評価			导点評価	価 回答 件数 比率			1	得点評価	
十分取り組んでいる	55	10.2%	10.9%	10.9	十分取り組んでいる	4	6.3%	6.8%	6.8
取り組んでいる	112	20.9%	22.2%	16.7	取り組んでいる	15	23.8%	25.4%	19.1
少し取り組んでいる	152	28.3%	30.2%	15.1	少し取り組んでいる	11	17.5%	18.6%	9.3
あまり取り組んでいない	132	24.6%	26.2%	6.5	あまり取り組んでいない	18	28.6%	30.5%	7.6
全く取り組んでいない	53	9.9%	10.5%	0.0	全く取り組んでいない	11	17.5%	18.6%	0.0
無回答	33	6.1%			無回答	4	6.3%		
総数	537	100.0%			総数	63	100.0%		
有効回答数	504		100.0%	49.2	有効回答数	59		100.0%	42.8
評価				С	評価				d

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民·事業者満足度調査 平成24年5月実施】

### 3-2 地域活動等の役割分担

役割項目	評価	役割分担状況
・観光資源の保存、活用に協力する。 ・観光地の美化などに協力する。 ・観光ボランティアとして活動する。		観光ボランティアガイドの会の会員が、市民や本市を訪れた方々に本市の観光 地などを、おもてなしの心を持って案内した。

[評価基準] a:十分取り組んでいる b:取り組んでいる c:少し取り組んでいる d:あまり取り組んでいない e:全く取り組んでいない

# 3-4 行政の役割分担

# (1)市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組

# A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の 目標水準	行政以外の 主体の役割	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
	観光協会など関係など連一ないのでは、 係団がらいでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 でいるが、		観光協会などの 関係団体と連携 しながら、HPや 観光ポスター等 の媒体を通じて 観光や地域資源 のPRを実施す る。		生駒市観光協会が、観光フォトコンテスト、観光アオトコンティアガイドランティアがイド養成講座の実施主体として活躍した。	b	産学官連携事業において、観光パンフレット・いこまナビ等の作成・生駒のお土産作りや観光ポランティアガイドの活用などほぼ予定通り達成できている。		指標	経済振興課
		観光地の来訪者数の増加	本代の 本地イラムと 大力イスのより 大力イスのようと 大力イスのようと 大力のに 大力が、 大力が 大力が 大力が 大力が 大力が 大力が 大力が 大力が		観光いこまポス ターの作成(年3 回春・夏・秋)		HPや観光パンフレットの配布、観光写真展への出展、観光ボランティアガイドの活用等により観光PRIに努め、来訪者の増加を目指している。(H23:162万人→H24:164万人)		指標	経済振
	観光ボランティ アのPRを行い ます。	観光ボランティ アとの協働	観光ボランティア と協働し、生駒 市の観光や地域 資源のPRを実施 する。	れる人への観光 ボランティアの PR		b	観光ボランティアガイドと 協働して、ハイキングを 実施するなど積極的な観 光PRを実施した。		その他	経済振興課
	市民·地域活	動等・事業者が	役割を果たせる。	よう支援する取締	組状況	b				

#### B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	行政以外の	進捗上の課題	担当課
11		観光ポスター作成業務委託		主体の役割生駒市観光協会は、市からボスターロりの成果のでは、市からで受しており、成果しており、成果の市外の主だった観光協会会は、は送付した。	足沙工心体医	経済振興課
	観光振興の核となる生駒市観光協会の活動に対する支援を行います。	観光協会補助金	生駒市観光協会の運営および活動に対す る補助金の交付	生駒市観光ポランティイドの会、新作コンテストの実施として活躍として活躍として活躍といる。		経済振興課
13	観光ボランティアのPRを行います。	観光協会補助金	生駒市観光協会が養成した観光ボランティアガイドの支援、PRを行う。	市の広報紙への 掲載、ラブリーの 出がして、 はいこまスカイウオントになど観光 かったいなど観光 はランティアが、小の会ともして を をとともに とった。		経済振興課

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

### (2) 行政が主体的に実施する取組状況

# A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の 目標水準	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
	や周辺自治体な		お茶会と高山竹あかりの夕べを実施し、地場産業の振興を行う。	事業の実施	b	各種関係団体と協議を重ね、コンサートの代替事業として新たな催しを開催した。		その他	経済振興課
	の発信と多様な 交流の促進を図 ります。	祭の開催	市民との協働による市民主体の実 行委員会に補助金を交付し、いこ ま国際音楽祭を開催する。		b	平成24年10月29日~11 月4日の期間にコンサート、マスタークラス、音楽 塾を主体とする事業を開 催		その他	生涯学 習課
		新たな観光ニー	大学と協働した新たな観光ニーズ の調査・研究を行う。	研究の実施	b	産学官連携事業において、観光パンフレット・いこまナビ等の作成・生駒のお土産作りや観光ボランティアガイドの実施などほぼ予定通り達成できている。		その他	経済振 興課
		行政が主体的	に実施する取組状況	b					

#### B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	進捗上の課題	担当課
	市内での回遊性を高めるため、生駒市全体を野外博物館にみたてた生駒フィールドミュージアムの推進により、市内に点在する地域資源同士を結ぶルートを設定するなど、資源のネットワーク化を図ります。	生駒フィールドミュージアムのPR	マップの配布やホームページ、案内板で広くPRL、 生駒の自然や歴史・文化、伝統産業など魅力ある 地域資源を市内外へ発信する。		企画政 策課
	竹あかりのタベや周辺自治体などと連携 したイベント等を通じて、本市の魅力の発 信と多様な交流の促進を図ります。	生駒・高山 竹あかりのタベ	物とろうそくのあかりを用いた催しを通して、市民や		経済振 興課
	訪れる観光客や市民の満足度を高めるため、高山竹林園やハイキングコース、公衆トイレなどの施設の充実、維持管理に努めます。	掃業務委託	市内を訪れる観光客及び市民が快適に使用できるよう、市内各ハイキングコースの清掃、公衆便所の 清掃業務について委託する		経済振 興課
	地域資源を活かしながら、観光ニーズの変化に対応した新たな取組の研究を進めます。	観光協会補助金	商工会議所、帝塚山大学、観光協会及び生駒市の 4者が連携し、各々の特徴を活かして、市内の商工 観光の活性化を図る。		経済振 興課

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

### 4 総合評価

			H22	H23	H24
1 目指す姿の	准供库	市民実感度	е	d	d
口口田9安(7)	1 日刊9安の定抄及		_	е	е
1 (市民) と 2ランク以上の乖					市民や事業者等に、市の取組が周知されていないこと、観光事業に直接関わらない人に事業内容が理解されにくいことなど
2 客観指標評	価		е	е	а
	↑ 2(客観)と3(行政)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析 ↓		市民満足度調査及び客観的指標評価においては、共に「e評価」であるが、2回目の観光フォトコンテストの実施、観光ボランティア事業を立ち上げたばかりで、観光啓発事業を本格的に実施させたばかりなのが、評価乖離の要因として考えられる。	生駒商工会議所、帝塚山大学、生駒市観光協会の4者の連携が始まったばかりで具体的成果が感じられないものと思われる。	
	Ħ	ī 民	b	С	С
	地	!域活動等	b	а	а
3 役割分担 状況	Juli.	事業 者	b	d	d
	行 政	支援する取組	а	b	b
	主体的な取組		а	b	b
総合評価(主	E担当課	の内部評価)	С	С	С
現状の課 (内部評価か					

[評価基準] A:目標が十分に達成されている B:目標がかなり達成されている C:目標がそこそこ達成されている D:目標があまり達成されていない E:目標が達成されていない

進捗状況の内部評価 についての意見		
今後の取組についての意見	前年度 最終評価	С
内部評価を変更した場合の理由	最終評価	